

タイ王国
メコン地域薬物対策地域協力プロジェクト
フェーズ2
終了時評価調査報告書

平成21年5月
(2009年)

独立行政法人国際協力機構
公共政策部

目 次

序 文
地 図
写 真
略語表

評価調査結果要約表

第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
1-5 プロジェクトの背景と概要	5
第2章 終了時評価の方法	7
2-1 評価方針	7
2-2 評価の手順	7
第3章 プロジェクトの実績と評価結果	9
3-1 投入実績	9
3-2 プロジェクト目標および上位の達成見込み	10
3-3 成果の達成状況	10
3-4 CLMV諸国の現状と活動の進捗状況	11
第4章 評価5項目の評価結果	13
4-1 妥当性	13
4-2 有効性	14
4-3 効率性	14
4-4 自立発展性の見込み	15
4-5 結 論	15
第5章 提言と教訓	16
5-1 提 言	16
5-2 教 訓	16

付属資料

1. Minutes of Meeting (with the Terminal Evaluation Report)	21
ANNEX I : Project Design Matrix for evaluation	
ANNEX II : Schedule of the Team	
ANNEX III : Achievement of the Project	
Table 1 : Assignment of Japanese Expert	
Table 2 : Counterpart Training in Japan	
Table 3 : Counterpart Personnel in ONCB	
Table 4 : Drug Analysts in NATSI	
Table 5 : Cases of IP by NATSI	
Table 6 : Training Materials	
Table 7 : Training for CLMV and its Instructors	
ANNEX IV : Evaluation Grid for the Project	
ANNEX V : Achievements to Date and Plan of Activities of Cambodia, Lao PDR, Myanmar, and Vietnam until the completion of the Project (March 2009)	
ANNEX VI : List of Interviewees	
2. プロジェクト投入・活動進捗／プロジェクト達成状況	59
表 1 : 日本側派遣専門家リスト	
表 2 : カウンターパート研修員リスト	
表 3 : ONCBカウンターパートリスト	
表 4 : NATSI分析官とその習得技能	
表 5 : NATSIにおける不純物分析の実施状況	
表 6 : 研修教材リスト	
表 7 : CLMV諸国向け研修と担当講師リスト	
表 8 : CLMV諸国向け研修とセミナー実績 (薬物取締り／薬物分析)	
3. CLMV諸国の活動進捗と今後の計画	75
4. 評価グリッド	81

序 文

インドシナ地域において、違法薬物の密造・密売および乱用は、長年にわたる懸案問題となってきた。アヘンやヘロインが主体であった従来の違法薬物問題に加え、近年はアンフェタミン系覚せい剤（ATS）の密造・密売と、特に若年層による乱用が大きな社会問題となっている。ATS等の違法薬物は国際的なシンジケートを介して大量に密造されており、一国の問題として対処することが困難なため、地域的国際的な取り組みが不可欠であるとの認識が強まっている。他方で、科学的根拠に基づく薬物取締り・捜査を実施するためには、薬物分析技術の向上が前提となる。そのため、タイおよび周辺国が連携して薬物分析技術を向上させることにより、地域における法執行能力の強化が可能となる。

かかる認識のもと、独立行政法人国際協力機構は、タイ政府からの要請を受けて、2002年6月から2005年6月までタイおよびCLMV諸国（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）における薬物分析技術の向上を通じた法執行能力の強化を目的とした「薬物対策地域協力プロジェクト」を実施し、さらに同プロジェクトの成果を踏まえて、2006年9月21日から2009年3月31日までCLMV諸国に対するタイの薬物分析技術支援能力の向上をプロジェクト目標とした「メコン地域薬物対策地域協力プロジェクトフェーズ2」を実施した。

今般、プロジェクト期間の終了に先立ち、プロジェクトの活動実績と成果を確認するとともに、プロジェクト終了後の対応について相手国側と協議するため、2009年1月11日から1月29日まで同機構公共政策部ガバナンスグループ長 桑島京子を総括とする終了時評価調査団を現地に派遣した。

本報告書は、同調査団の調査・協議結果を取りまとめたものであり、今後の国際協力活動の進展に広く活用されることを願うものである。

ここに、これまでのプロジェクトにご協力いただいた内外の関係各機関の方々に心から謝意を表するとともに、今後の一層の支援をお願いする次第である。

平成21年5月

独立行政法人国際協力機構
公共政策部長 中川 寛章

GREATER MEKONG SUBREGION





NATSI外観



NATSI内のGC



外見検査研究室



NACD (カンボジア) のラボ



簡易判定試薬 (ベトナム)



メンテナンスの連絡先
(ミャンマー)



協議状況



M/M署名式

略 語 表

ATS	Amphetamine-type Stimulus	アンフェタミン系覚せい剤
CAM	General Department of Cambodia's Control of Import-Export and Fraud Repression	カンボジア商業省輸出入取締総局
CCDAC	Central Committee for Drug Abuse Control	ミャンマー薬物乱用統制中央委員会
CEO	Chief Examiner's Office	ミャンマー科学鑑定官事務所
CLMV	Cambodia, Lao People's Democratic Republic, Myanmar, and Vietnam	カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム
CNPD	Counter Narcotics Police Department	ベトナム公安省薬物取締部
C/P	Counterpart	カウンターパート
DAC	Development Assistance Committee	開発援助委員会
DCD	Drug Control Department, Ministry of Public Safety	ラオス公安省薬物取締部
FDQCC	Food and Drug Quality Control Center	ラオス保健省食料・薬物品質統制センター
GC	Gas Chromatograph/Gas Chromatography	ガス・クロマトグラフ/ ガス・クロマトグラフィー
GC-MS	Gas Chromatograph-Mass Spectrometer	ガス・クロマトグラフ-質量分析計
Ice	Crystal-type Methamphetamine	結晶型メタンフェタミン
IFS	Institute of Forensic Science	ベトナム公安省刑事科学研究所
IP	Impurity Profiling	不純物分析
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
J/E	Japanese Expert	日本人専門家
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
LCDC	Lao National Commission for Drug Control and Supervision	ラオス国家薬物統制管理委員会
LEB	Narcotic Law Enforcement Bureau	タイ薬物取締局
M/M	Minutes of Meetings	協議議事録（ミニッツ）
MM	Man Month	人月
NACD	National Authority of Combating Drugs	カンボジア内務省国家薬物対策機関
NATSI	Narcotics Analysis and Technical Service Institute	薬物分析技術サービス研究所
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
OJT	On-the-Job Training	オン・ザ・ジョブ・トレーニング
ONCB	Office of Narcotics Control Board	タイ薬物統制委員会事務局
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス

PDMe	Project Design Matrix for evaluation	評価用プロジェクト・デザイン・マトリックス
R/D	Record of Discussions	討議議事録
SODC	Standing Office of Drug Control of Vietnam	ベトナム国家薬物対策常任委員会
THB	Thai Baht	タイ・バーツ
TICA	Thailand International Development Cooperation Agency	タイ国際開発協力庁
TLC	Thin-Layer Chromatography	薄層クロマトグラフィー

評価調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：タイ	案件名：メコン地域薬物対策地域協力プロジェクトフェーズ2
分野：ガバナンス・公共安全	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：公共政策部法・司法課	協力金額（評価時点）：144,880千円
協力期間	2006.9.21-2009.3.31
	先方関係機関：タイ薬物統制委員会事務局（ONCB） 日本側協力機関：警察庁
<p>1-1 協力の背景と概要</p> <p>インドシナ地域において、違法薬物の密造・密売および乱用は、長年にわたる懸案問題となってきた。過去40～50年のあいだ、タイ王国（以下、「タイ」と記す）をはじめとする周辺諸国はこの問題に対処するため、絶えることなく包括的な努力を続けてきたが、今日まで、社会、文化、経済、治安等のあらゆる局面に多大な負の影響を及ぼしている。</p> <p>アヘンやヘロインが主体であった従来の違法薬物問題に加え、近年はアンフェタミン系覚せい剤（ATS）の密造・密売と、特に若年層による乱用が大きな社会問題となっている。</p> <p>ATS等の違法薬物は国際的なシンジケートを介して大量に密造されており、一国の問題として対処することが困難なため、地域的国際的な取り組みが不可欠であるとの認識が強まっている。</p> <p>地域的な薬物対策は緊急の課題である一方、薬物対策関連の法執行能力を強化するうえで、科学的根拠に基づく薬物取締り・捜査を実施するためには、薬物分析技術の向上が前提となる。域内の効果的な薬物対策のためには、タイおよび周辺国が連携して薬物分析技術を向上させることにより、地域における法執行能力の強化が可能となる。</p> <p>かかる認識のもと、タイ政府はCLMV（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）における薬物分析技術の向上を通じた法執行能力の強化を実現すべく日本政府に支援要請を行い、2002年6月から2005年6月まで、JICAは薬物対策地域協力プロジェクトを実施した。同プロジェクトにより、各国の薬物鑑定官・取締官の技術・知識が向上した。達成された成果を踏まえ、タイ政府からインドシナ各国において、薬物の不純物分析の結果が薬物取締りに活用されるシステムを強化する旨のフェーズ2の要請が提出されたのに続き、CLMVからも、それぞれフェーズ2が要請された。</p>	
<p>1-2 協力内容</p> <p>(1) 上位目標</p> <p style="padding-left: 2em;">インドシナ域内において科学的証拠に基づく薬物捜査／取締り活動を促進するため、タイおよびCLMV諸国間の薬物対策における協力関係が強化される。</p> <p>(2) プロジェクト目標</p> <p style="padding-left: 2em;">（タイ部分；他国においてはそれぞれ設定）タイ薬物対策機関（ONCBおよび関係機関）が、CLMV諸国の薬物取締りおよび薬物分析／不純物分析分野の技術支援を実施するために、薬物分析および不純物プロファイリングの能力を強化する。</p>	

(3) 成果

- 1) プロジェクト関連の薬物鑑定機関（ONCBの分析ラボ）の薬物等の分析能力が向上する。
- 2) 薬物取締り活動において薬物分析が有効に活用されることが定着する。
- 3) 薬物取締りおよび薬物分析／不純物プロファイリングの訓練にかかわるONCBおよび関係機関の訓練指導者の指導能力が向上する。

(4) 投入

<日本側投入>

1) 専門家派遣

- ・長期派遣専門家 3名 (57.73MM; 薬物対策、薬物分析、業務調整)
- ・短期派遣専門家 延べ8名 (28.58MM; 薬物対策、薬物分析、業務調整)

2) 機材供与 (タイ向け供与機材)

- ・Ice (結晶型メタンフェタミン系覚せい剤) 分析用ソフトウェア (2006年188万円)
- ・大型プリンター [2008年現地調達118,030パーツ (312,071円)]
- ・データベース用パーソナルコンピューター3台および付属品 [2008年現地調達131,610パーツ (347,977円)]

3) 国別研修

- ・本邦研修: 2名 (2007年9月)

4) その他: コンサルタント契約

- ・ガス・クロマトグラフ (GC) 維持研修 (Tramat社による) [35,378.69ドル (3,199,649円)]
- ・薬物データベース開発 (InfoMania社による) [1,510,000パーツ (3,992,440円)]

<タイ側投入>

1) カウンターパート (C/P) 配置 11名

2) 建物・施設およびその他の便宜供与

- ・事務室3室 (ONCB本部に2室、研究所に1室)、秘書1名

3) 運営資金

- ・ONCBの一般予算から支出している。
- ・分析機器の維持管理費および試薬・ガスの調達

2. 評価

(1) 妥当性

プロジェクトの妥当性は高い。

- ・域内における薬物の撲滅は、タイとCLMV諸国の政策に合致している。
- ・日本のODA大綱においても、薬物対策は重要なグローバル・ 이슈に位置づけられており、対タイ国別援助計画におけるタイのドナー化支援方針「地域協力の推進 (第三国における共同支援)」にも沿っている。
- ・ターゲットグループは、「ONCBの薬物管理 (薬物取締り、薬物分析) のインストラクター」と設定されており、プロジェクトによって彼らの能力を向上させて、地域でその能力を示す機会を提供することによって、ONCBの組織プレゼンスを向上させ、CLMV諸国の薬物取締りおよび薬物分析能力の強化に寄与している。
- ・広域案件としての枠組みに関する関係国間の合意形成は、プロジェクト開始後に行われたため、枠組み形成プロセスとしての妥当性は十分とはいえない。

(2) 有効性

プロジェクトの有効性は中の上レベル。

- ・本プロジェクト目標は、以下の成果達成状況を踏まえて、達成される見込みである。
- ・ONCB薬物分析ラボ〔薬物分析技術サービス研究所（NATSI）〕の薬物分析能力向上については、3名の分析官のATS型不純物分析のスキルが向上し、Iceの不純物分析についても技術を習得しつつある。
- ・薬物分析と薬物取締りとの連携強化については、薬物情報システムを確立し、分析や外観検査の結果・証拠に基づく捜査、戦略的な取締り方策等に係る国内研修を独自に行うなど、自立性は高い。
- ・ONCB教官の薬物取締りと薬物分析／不純物分析の分野における域内での指導能力の強化については、2007年度にタイでのワークショップを3回実施したほか、2008年3月以降CLMV各国の累次の現地研修において、ONCBスタッフが講師として繰り返し指導にあたっており、ONCBスタッフによる指導教材やマニュアル等も作成されているため高レベルで達成見込み。
- ・CLMV向けの活動の遅れ等の要因が、プロジェクト目標の達成に負の影響を及ぼした。

(3) 効率性

プロジェクトの効率性は中程度。

- ・専門家の投入の全体規模は適切であったが、最終8か月に活動負荷が集中した。
- ・タイ側C/Pの数、能力、配置などは適切。ただし、C/P分析官の異動がNATSIの技術レベルの向上に影響を及ぼした。
- ・成果1、2に関しては、日本側からの投入が少なくても、ONCB側の自助努力もあって、十分な成果を達成した。
- ・成果3に関しては、リーダーワークショップをCLMV向け活動の最初に実施することにより、各国に薬物分析と薬物取締りに係る標準的な知識を効率的に提供することができた。
- ・ミャンマーでの長期にわたるGC故障、維持管理予算の確保や現地での調達の高コストなどが効率性を阻害した。

(4) 自立発展性の見込み

ONCBは、CLMV諸国からの要請に基づき技術支援を継続する用意があることから、プロジェクトへ自立発展性の見込みは認められる。しかし、以下の点が課題とされる。

- ・NATSIスタッフはプロジェクト終了までにIceの不純物分析の手法を習得見込みであるが、そのデータの精度を向上させていくことが課題となっている。
- ・ONCBはCLMVに対する人材育成を支援するだけの十分な人材を有し、CLMVからの要請に基づき支援していく意向をもっている。
- ・NATSI内で協力により移転した知識・技術を他の分析官に伝えていくことが課題となっている。
- ・薬物データベースがCLMVにインストールされたばかりであるため、その運用状況についてモニタリングをしていく必要がある。

3. 特記事項（提言・教訓等を含む）

プロジェクト目標「ONCBが周辺国技術指導を行うための薬物対策および分析能力の強化」は、計画どおりに達成する見込みであり、予定どおりに2009年3月31日で、本プロジェクトを終了することを提言する。

プロジェクトによって得られた成果の自立発展性、ならびにCLMV諸国における活動の持続性を考慮したうえで、協力期間中および終了後に向けた提言事項は次のとおりである。

（1）プロジェクト期間中に考慮すべき事項

- 1) ONCBはIce型の不純物分析技術を習得する予定であるが、よりデータ管理を向上させ、分析の精度を維持・向上させることに、より留意を傾けるべきこと。
- 2) 拡大する分析ニーズと周辺国の支援ニーズに効果的に応えるためには、NATSIにおける知識の移転や人事管理を含む人材育成に留意すること。
- 3) 薬物データベースの導入や操作研修の進捗をみながら、技術的なフォローとモニタリングを行うこと。
- 4) 2009年3月には、タイにおいて取りまとめのための地域セミナーを開催し、周辺国との間でプロジェクトの成果と進捗を共有し、将来的な地域協力を議論すること。JICAは、周辺諸国の参加者経費を支援する。

（2）プロジェクト終了後、CLMV諸国の自助努力を持続させるために考慮すべき事項

- 1) 地域のなかでも、CLMにおけるGCを用いた不純物分析技術の向上は長期的視野で取り組むべき課題である。GCの維持管理への継続的努力も激励すべきであり、長期にわたる自助努力強化のための適時のモニタリングや助言が重要である。
- 2) データベースの継続的かつ有効な活用状況についても、各国の状況ごとに、適時のモニタリングと活用推進が必要である。
- 3) ONCBは、CLMV諸国からの要請に基づき技術支援を継続する用意があることを表明している。

（3）教訓

1) 地域協力のプロジェクト形成

地域協力プロジェクトの絞込みや設計、関係国間の合意形成にあたっては、時間軸や手続き的な順序についてより慎重に検討することが必要である。二国間討議議事録（R/D）などを締結する前の時点で、地域的な合意形成を図ることが望ましい。

2) 機材の自立的維持管理

各国機関において、フェーズ1で供与されたGCの安定的運用ができるかどうか、フェーズ2の活動にも影響を与えた。新しい機材の供与にあたっては、担当機関に維持管理コストや予防的措置の必要性を理解させることが不可欠である。加えて、受入れ機関が自国政府に対し予算要求すること、継続的な運用を確実にできるよう、自立的な維持管理能力を構築するための助言を提供し、受益国側の努力を促進することが重要である。

* 1 パーツ=2.644円

* 1 ドル=90.44円（ともに2009年1月統制レート）

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

本プロジェクトは、CLMV（Cambodia, Lao People's Democratic Republic, Myanmar and Vietnam：カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）諸国に対するタイのONCB（Office of Narcotics Control Board：タイ薬物統制委員会事務局）の薬物分析に係る技術支援能力を向上することを目的に、2006年9月に日タイ間で実施が合意された。2008年5月に運営指導調査団が派遣され、各国（ミャンマーを除く）における協力活動の進捗を確認するとともに、終了時における到達レベルおよび終了までの各国における活動計画について協議・合意した。

本調査団は、2009年3月のプロジェクト終了を控え、上記運営指導調査団の合意事項を踏まえて、以下の諸点を目的とした終了時評価を実施するために2009年1月11日から1月29日まで派遣されたものである。

- (1) プロジェクト開始時のR/D（Record of Discussions：討議議事録）および2008年5月の運営指導調査団のM/M（Minutes of Meetings：協議議事録）、PDMe（Project Design Matrix for Evaluation：評価用プロジェクト・デザイン・マトリックス）に基づき、これまでのプロジェクト活動の進捗状況、実績、プロセス、目標の達成見込みを整理および確認する。
- (2) 小規模案件につき、DAC（Development Assistance Committee：開発援助委員会）評価5項目のうち、3項目（妥当性、有効性、効率性）を評価する。加えて、自立発展性の観点から評価・提言を行う。
- (3) 進捗状況、達成度を踏まえ、協力期間終了までに対応すべき事項を両者で確認のうえ、具体的対応策、スケジュールについて協議し、合意する。また、終了後の対応について協議を行う。
- (4) 上記評価結果および今後対応すべき事項をC/P（Counterpart：カウンターパート）機関と協議し、合意する。合意内容をM/M（英文）としてまとめ、タイC/P機関と署名をする。
- (5) 今後の薬物対策支援および広域協力に係る教訓・提言等を導き出し、評価結果を含め終了時評価表案を作成する。それを関係在外事務所と協議したうえで終了時評価報告書（和文）を作成する。

1-2 調査団の構成

氏名	担当業務	所属
桑島 京子	団長・総括	独立行政法人国際協力機構公共政策部ガバナンスグループ長
木全 洋一郎	協力企画	独立行政法人国際協力機構公共政策部法・司法課
寺原 譲治	評価分析	財団法人国際開発センター

1-3 調査日程

2009年1月11日～1月29日

	月日	曜日		桑島	寺原	木全	宿泊場所
1	1月11日	日	AM		11:00 NRT→HAN 15:10 (JL5135)		Hanoi
			PM				
2	1月12日	月	AM		10:00 SODC		
			PM		14:00 SODC		
3	1月13日	火	AM		10:00 IFS		
			PM		14:00 CNPD		
4	1月14日	水	AM		08:30 HAN-PNH 11:50 (VN841)		Phnom Phenh
			PM		15:00 NACD		
5	1月15日	木	AM		10:00 NACD (Labo.)		Bangkok
			PM		14:00 NACD (LE)		
					21:10 PNH→BKK 22:15 (TG699)		
6	1月16日	金	AM		09:00 ONCB		Bangkok
			PM		14:00 ONCB (NATSI)		
7	1月17日	土	AM		資料整理		
			PM		資料整理		
8	1月18日	日	AM		資料整理	10:55 NRT→BKK 16:00 (JL717)	Yangon
			PM		17:55 BKK→RGN 18:40 (TG305)		
9	1月19日	月	AM		07:00 RGN→NPT 07:55 (HK731)		
					10:00 CCDAC		
			PM		NPT→RGN (by car)		
10	1月20日	火	AM		09:00 CEO		Bangkok
			PM		19:40 RGN→BKK 21:20 (TG306)		
11	1月21日	水	AM		10:00 ONCB		Vientiane
			PM		13:30 ONCB (NATSI)		
					18:50 BKK→VTE 20:10 (QV425)		
12	1月22日	木	AM		09:00 LCDC		
			PM		14:00 FDQCC		
13	1月23日	金	AM		09:00 DCD		Bangkok
			PM		16:30 VTE→BKK 17:50 (QV415)		
14	1月24日	土	AM		資料整理		
			PM				
15	1月25日	日	AM	10:55 NRT→BKK	資料整理		Bangkok
			PM	16:00 (JL717)			
16	1月26日	月	AM	10:30 JICA専門家との打合せ			
			PM	13:00 ミニッツ協議 (成果達成状況および評価グリッド)			
17	1月27日	火	AM	09:00 ミニッツ協議			
			PM	(提言および教訓)			
18	1月28日	水	AM	09:00 ミニッツ最終確認 11:00 ミニッツ署名			
			PM	Report to大使館およびJICAタイ事務所報告			
19	1月29日	木	AM		08:15 BKK→NRT 16:00 (JL708)	22:30 BKK→	
			PM				
20	1月30日	金	AM			→NRT 06:15 (JL718)	

1-4 主要面談者

(1) タイ

- 1) ONCB (Office of Narcotics Control Board : 薬物統制委員会事務局)
Mr. Chatchai Suthiklom, Senior Narcotics Control Advisor
Mr. Vichet Puthaviriyakorn, Director, NATSI
Ms. Kanyanan Kongpatnitroj, Senior Scientist, NATSI
Mr. Kraivudh Maneeratana, Law Enforcement Officer
Mr. Thanapol Thanikkul, Foreign Relations Officer
Ms. Mayurashatr Pandhuatr, Senior Foreign Relations Officer
Ms. Khanitha Limvanich, Information and Technology Center
Mr. Chotipun Jullapech, Law Enforcement Officer
Mr. Wutthipong Panich-suay, Senior Law Officer
- 2) TICA (Thailand International Development Cooperation Agency : 国際開発協力事務局)
Mr. Pichet Khemthong, Program Officer
- 3) JICAプロジェクト専門家
勝俣 祐二 専門家 (業務調整)
黒川 大助 専門家 (薬物対策)
小坂 孝一 専門家 (薬物分析)
- 4) JICAタイ事務所
小野田 勝次 所 長
小川 正純 次 長
戸島 仁嗣 次 長
竹内 清佳 所 員

(2) カンボジア

- 1) NACD (National Authority of Combating Drugs : 内務省国家薬物対策機関)
Lt. Gen. Moek Dara, Secretary General, Director of Anti-Drug Dept.
Mr. Sar Chhamrith, Advisor
Mr. Suon Khoelin, Deputy of Department
Mr. Chun Thaweat, Deputy Director of International Cooperation Department
Dr. Meas Vyrith, Director of Narcotics Laboratory
Col. Duong Sunnara, Deputy Director of Law Enforcement Department
Mr. Cheat Sovichea, Deputy Head of Drugs Information Center
Ms. Sithybunrith, Laboratory Analyst
- 2) カンボジア薬物対策プロジェクト
竹内 宏之 専門家 (薬物対策)
- 3) JICAカンボジア事務所
小林 雪治 次 長
寺田 美紀 企画調査員

(3) ラオス

- 1) LCDC (Lao National Commission for Drug Control and Supervision : 国家薬物統制管理委員会)

Mr. Ounseng Vixay, Head of Permanent Secretariat

Mr. Houmphanh Souksavarn, Acting Director of Law Enforcement Division

- 2) FDQCC (Food and Drug Quality Control Center : 保健省食品・薬物品質統制センター)

Dr. Latsamay Vongsack, Director

Mr. Kongchai Khamphoumy, Deputy Head of Narcotic Division

- 3) DCD (Drug Control Department, Ministry of Public Safety : 公安省薬物取締部)

Mr. Khamphonh Sihaphanya, Director

Mr. Seng Houng, Deputy Officer

Mr. Ouf Sayauth, Technical Officer

- 4) JICAラオス事務所

高島 宏明 所長

松元 秀亮 所員

(4) ミャンマー

- 1) CCDAC (Central Committee for Drug Abuse Control : 薬物乱用統制中央委員会)

Pol. Col. Hkam Awng, Joint Secretary

Pol. Col. Phone Kyaw Shwe, Director, Law Enforcement Department

Pol. Lt. Col. Than Soe, Deputy Director, International Relations Department

- 2) CEO (Chief Examiner's Office : 科学鑑定官事務所)

Ms. Thida Oo, Deputy Director, Head of CEOs in Yangon and Mandalay

Mr. Saw Henry, Assistant Director of Narcotics and Psycho tropics Section in Yangon

Mr. Nyan Min Tun, Assistant Director of Narcotics and Psycho tropics Section in Mandalay

Ms. Nyo Nyo Win, Assistant Director of Forensic stain and General analytical Section in Yangon

Ms. Aye Aye Maw, Assistant Director of Toxicology Section

- 3) JICAミャンマー事務所

佐藤 公平 次長

本田 賀子 企画調査員

(5) ベトナム

- 1) SODC (Standing Office of Drug Control of Vietnam : 国家薬物対策常任委員会)

Mr. Hoang Anh Tuyen, Deputy Director

Pol. Col. Ta Duc Ninh, Deputy Director of International Cooperation

Ms. Nguyen Nhu Ha, Assistant

- 2) IFS (Institute of Forensic Science : 公安省刑事科学研究所)

Maj. Gen. Dr. Ngo Tien Quy, Director

Dr. Du Ding Dong, Director of Drug Analysis Center

3) CNPD (Counter Narcotics Police Department : 公安省薬物取締部)

Mr. Nguyen Ngoc Giao, Deputy Chief of Staff Division

Ms. Nguyen Thi Phuong Thao, Assistant

4) JICAベトナム事務所

東城 康裕 次 長

林 将幸 所 員

1-5 プロジェクトの背景と概要

(1) プロジェクトの背景

インドシナ地域において、違法薬物の密造・密売および乱用は、長年にわたる懸案問題となってきた。過去40～50年のあいだ、タイをはじめとする周辺諸国はこの問題に対処するための努力を続けてきたが、今日まで社会、文化、経済、治安等のあらゆる局面に多大な負の影響を及ぼしている。

アヘンやヘロインが主体であった従来の違法薬物問題に加え、近年はATS (Amphetamine-type Stimulus : アンフェタミン系覚せい剤) の密造・密売と、特に若年層による乱用が大きな社会問題となっている。

ATS等の違法薬物は国際的なシンジケートを介して大量に密造されており、一国の問題として対処することが困難なため、地域的国際的な取り組みが不可欠であるとの認識が強まっている。

地域的な薬物対策は緊急の課題である一方、薬物対策関連の能力を強化するうえで、科学的根拠に基づく薬物取締り・捜査を実施するためには、薬物分析技術の向上が前提となる。域内の効果的な薬物対策のためには、タイおよび周辺国が連携して薬物分析技術を向上させることにより、地域における対策能力の強化が可能となる。

かかる認識のもと、タイ政府はCLMVにおける薬物分析技術の向上を通じた対策能力の強化を実現すべく日本政府に支援要請を行い、2002年6月から2005年6月まで、JICAは薬物対策地域協力プロジェクトを実施した。同プロジェクトにより、各国の薬物鑑定官・取締官の技術・知識が向上した。

この成果を踏まえ、CLMV諸国に対するタイの薬物分析や取締りに関する技術支援能力の向上を目的として、2006年9月21日にJICA、タイ事務所とタイONCBとの間で、2009年3月31日までを協力期間とするフェーズ2プロジェクトのR/Dが署名された。

本フェーズ2では、我が国の外務省からの指導により、専門家が技術協力活動を行うすべての対象国からの要請書が必要となり、要請採択後、個別にCLMV諸国との国際約束およびR/Dの締結が必要となった。要請書については、2007年度初頭にミャンマーを除いて提出され、M/M署名は2007年10月から11月に完了した。ミャンマーについては時間の制約もあったため(立ち上げに通常3年程度を要する)、技術プロジェクトではなく、個別専門家派遣3件および本邦研修1件として、個別に対応することとした。

(2) プロジェクトの概要

本プロジェクトでは、①タイONCBのNATSI (Narcotics Analysis and Technical Service Institute : 薬物分析技術サービス研究所) の薬物および関連物質の分析能力が向上すること、

②薬物分析と薬物取締りとの連携が強化されること、③薬物取締りと薬物分析／不純物分析の分野におけるONCB教官の指導能力が強化されることの3点を成果として、薬物分析の指導、薬物取締りセミナーの実施、CLMV向け薬物取締りおよび薬物分析現地研修の実施といった活動を実施した。

上記3に関する、CLMV向けの活動としては、2008年5月の運営指導調査時に活動項目が整理され、①外観検査技術を含む薬物分析技術の向上、②薬物分析機器のメンテナンスを行う体制の構築、③薬物分析結果が活用されるための薬物データベースの構築、④薬物対策／取締り機関における簡易判定試薬の活用、⑤薬物取締官のためのマニュアル・ハンドブックの整備、⑥薬物取締官の知識・技術の向上（取締り一般、分析結果の活用）の六本柱で活動が行われた。

第2章 終了時評価の方法

2-1 評価方針

(1) プロジェクトの活動実績と成果の評価

タイでの活動については、2008年5月の運営指導調査にて合意したPDMe（Project Design Matrix for evaluation：評価用プロジェクト・デザイン・マトリックス）に基づいて評価グリッドを作成し、評価調査した。

タイにおいては、プロジェクト目標「ONCBの周辺国技術指導ができるための薬物対策および分析能力の強化」に資する成果として、①薬物分析ラボの能力向上、②薬物分析と対策の連携強化、③周辺国に対する薬物分析および対策両分野におけるONCBの講師の能力向上の3点を評価した。

(2) CLMV諸国における活動実績と成果

CLMV諸国における活動は、タイ向け協力の成果3に関連するとともに、プロジェクト目標の「外部条件」の位置づけにあるため、これらの進捗状況のモニタリングを行った。PDM（Project Design Matrix：プロジェクト・デザイン・マトリックス）の外部条件の位置づけにおいて、2008年5月の運営指導時に改めて整理し、合意した活動計画における6項目（①外観検査技術を含む薬物分析技術の向上、②薬物調査分析機器のメンテナンス体制の構築、③薬物調査分析結果が活用されるための薬物データベースの構築、④薬物対策／取締り機関における簡易判定試薬の活用、⑤薬物取締官のためのマニュアル・ハンドブックの整備、⑥薬物取締官の知識・技術の向上）に基づき活動の進捗および成果の現状を調査した。

2-2 評価の手順

本プロジェクトの終了時評価は、上述のとおり2008年5月の運営指導調査時にタイ側と合意したPDMeおよびCLMV諸国と合意した活動計画をもとに、以下の手順で実施された。

(1) 既存資料のレビュー

事業事前評価表、実施運営総括表、専門家業務完了報告書、専門家業務出張報告書のほかに、2008年5月の運営指導調査時以降導入したCLMV向け活動モニタリングシートなどをレビューし、プロジェクトの形成過程、活動の推移、成果の現状を整理した。

(2) 評価グリッドおよび質問票の作成と回収

2008年5月の運営指導調査時に合意したPDMeをもとに評価3項目に係る評価グリッドを作成した。評価グリッドにおける評価質問にのっとり、タイONCB向けの質問票を作成し回収した。

(3) CLMV諸国向け活動・成果のモニタリング

CLMV諸国のC/P機関を訪問し、六本柱の活動の実施状況に係るヒアリング調査を実施し、その結果を進捗実績ならびに残る協力期間中の活動計画として整理した。

(4) プロジェクトの投入・活動進捗状況の整理および成果・目標の達成状況の確認

既存資料、質問票回答および現地でのヒアリング等を通じて、投入および活動の進捗状況を整理し、プロジェクト成果および目標の達成状況を高い (High)、中程度 (Moderate)、低い (Low) の三段階で評価した。

(5) 評価3項目による評価と分析

評価グリッドにおける以下の3項目に対応する評価指標の達成度を検証し、(4)と同様の基準で評価した。あわせて、自立発展性の見込みについても、政策、組織、財政、技術などの点から検討した。

- 1) 妥当性 (Relevance) : タイ政府の政策およびプロジェクト受益者のニーズの観点からプロジェクト目標および上位目標の妥当性を判断する。
- 2) 有効性 (Effectiveness) : プロジェクトが真にターゲット層の利益となっているかを判断する。プロジェクト成果の実現により、プロジェクト目標が予定通り達成されたかどうか判断される。
- 3) 効率性 (Efficiency) : プロジェクトにおける資源が有効に活用されたかという視点から投入と成果との関係を問う。その意味で、達成されたプロジェクト成果や目標に比して、プロジェクトの投入コストが妥当であったかが判断される。

(6) 評価M/Mの協議・署名

作成された投入・活動の進捗状況、成果・目標の達成状況および評価グリッドをもとに、評価結果の概要を日・タイ双方の評価チーム間で協議した。協議による合意事項をM/Mに取りまとめ、双方の代表により署名交換された。

第3章 プロジェクトの実績と評価結果

3-1 投入実績

(1) 日本側投入

1) 派遣専門家（付属資料2の表1参照）

<長期派遣専門家>

- ・ 3人（57.73MM（Man Month：人月）；薬物対策、薬物分析、業務調整。R/Dでは、薬物対策、業務調整2人の専門家で、60MMの派遣を想定していた。）

<短期派遣専門家>

- ・ 延べ8人（28.58MM；薬物対策、薬物分析、業務調整。R/Dにおいては、薬物分析は短期専門家のみが派遣されることを想定していた。）

2) 機材供与

日本側から、タイONCBに対して供与された機材は、以下のとおりである。

- ・ Ice（Crystal-type Methamphetamine Stimulus：結晶型メタンフェタミン系覚せい剤）分析用ソフトウェア（2006年188万円）。
- ・ 大型プリンター〔2008年現地調達118,030パーツ（312,071円）〕
- ・ データベース用パーソナルコンピューター3台および付属品〔2008年現地調達131,610パーツ（347,977円）〕

3) C/P研修（付属資料2の表2）

- ・ 本邦研修：2人（2007年9月）

4) その他

現地コンサルタント契約

- ・ GC（Gas Chromatograph：ガス・クロマトグラフ）維持管理研修（Tramat社による）〔35,378.69ドル（3,199,649円）〕
- ・ 薬物データベース開発（InfoMania社による）〔1,510,000パーツ（3,992,440円）〕

5) 在外事業強化費

各国での薬物対策および薬物分析のワークショップ、上記4)の現地コンサルタント契約等を主な使途として以下のとおり支出した。

年度	金額
2006	10,026千円
2007	12,944千円
2008	6,094千円
合計	29,064千円

*1 パーツ=2,644円

*1 ドル=90.44円（ともに2009年1月統制レート）

(2) タイ側投入

1) C/P

- ・ 11人のC/PがONCB内3部局（総務、薬物取締り、研究所）から任命されている（付属資料2の表3）。

- ・ JCC (Joint Coordinating Committee : 合同調整委員会) メンバーも活動している。
 - ・ 研究所強化のため、新たに 9 人の分析官を採用した。
- 2) 建物・施設およびその他の便宜供与
- ・ 事務室 3 室 (ONCB本部に 2 室、研究所に 1 室)
 - ・ 秘書 1 人
- 3) 運営資金
- ・ ONCBの一般予算から支出している。プロジェクトのための特別枠はない。TICA (Thailand International Development Cooperation Agency : タイ国際開発協力庁) が、秘書および日本人専門家用運転手の給与を負担している。プロジェクトのための特別枠は用意されていない。
 - ・ C/Pの外国への出張旅費等は、JICA負担となっている。
- 4) 分析機器の維持費
- ONCBは、試薬、ガスなどを独自に調達している。

3-2 プロジェクト目標および上位目標の達成見込み

(1) プロジェクト目標

<プロジェクト目標>

(タイ部分 ; 他国においてはそれぞれ設定) タイ薬物対策機関 (ONCBおよび関係機関) が、CLMV諸国の薬物取締りおよび薬物分析／不純物分析分野の技術支援を実施するために、薬物分析および不純物プロファイリングの能力を強化する。

本プロジェクト目標は達成される見込みである。その達成状況は以下のとおりである。

- ・ NATSIの能力向上が図られ、地域における本格的な薬物分析機関として認識されている。
- ・ ONCB C/Pが各国において、教官／講師としての能力を身につけた。

(2) 上位目標

<上位目標>

インドシナ域内において科学的証拠に基づく薬物捜査／取締り活動を促進するため、タイおよびCLMV諸国間の薬物対策における協力関係が強化される。

上位目標の達成状況について、現時点では判断することはできないが、上位目標に向けた以下のような進捗をみることができる。

- ・ 薬物データベースが設置されつつあり、円滑な運用が期待されている。NATSIでは不純物分析の結果が蓄積されつつある。標準化された新規データベースによって、データ交換の手法がより改善され得る。データ交換がより頻繁に行われることが期待される。
- ・ タイの専門家リストは作成されている。NATSIは、CLMV諸国がONCBにコンタクトする際の窓口をトピックごとに指定している。しかし、CLMV諸国ではリソースパーソンのリストを作成しておらず、交換もされていない。

3-3 成果の達成状況

(1) 成果 1 : プロジェクト関連の薬物鑑定機関 (ONCBの分析ラボ) の薬物等の分析能力が向

上する。

成果1の達成状況は中程度である。また、達成される見込みであり、その状況は以下のとおりである。

- ・錠剤型覚せい剤（ATS）の外観プロファイリングおよびGCを利用した不純物分析を指導できる能力がある。
- ・3名の分析官のATSの不純物分析のスキルが向上し、Iceの不純物分析についても技術を習得しつつある。
- ・Iceの不純物分析のためには、分析の精度管理、そのためのデータ管理と蓄積が極めて重要である。不純物分析ニーズや周辺国の支援ニーズの増大に対応するためには、NATSI分析官の分担体制や人事配置、分析官間の知識の移転を含めた人材育成が重要である。

(2) 成果2：薬物取締り活動において薬物分析が有効に活用されることが定着する。

成果2の達成状況は高い。その状況は以下のとおりである。

- ・ONCBは、すでに薬物情報システムを確立しており、また分析や外観検査の結果・証拠に基づく捜査、戦略的な取締り方策等に係る国内研修を独自に行うなど、自立性は高い。
- ・連携強化に関しては次のような実績がある。①薬物捜査官は押収した薬物をデジタルカメラで撮影し、それをNATSIに送付すると警察署に分析結果が返送される。②すべての警察署に簡易判定試薬が設置されている。③ONCB分析官が地方の分析官に対して、薬物分析の結果を捜査に反映させるための研修を実施している。
- ・ONCBは薬物捜査官向けの教材を独自に作成している。
- ・周辺国向けに開発した薬物データベースはタイと共通のデータ分類等を用いており、ONCBにも導入予定がある。

(3) 成果3：薬物取締りおよび薬物分析／不純物プロファイリングの訓練にかかわるONCBおよび関係機関の訓練指導者の指導能力が強化される。

成果3の達成状況は高い。その状況は以下のとおりである。

- ・CLMV諸国に対する研修については、2007年度にタイでのワークショップを3回実施したほか、2008年3月以降CLMV各国の累次の現地研修において、ONCBスタッフが講師として繰り返し指導にあたっている。ONCBスタッフによる指導教材やマニュアル等も作成されている。
- ・ONCBの講師レベルのリソースパーソンリストも作成されている。
- ・薬物データベースについては、2008年12月にソフトウェアが完成し、2009年1月から2月初旬にかけて、各国におけるインストールと操作研修が行われている。

3-4 CLMV諸国の現状と活動の進捗状況

(1) 活動項目1：外観検査技術を含む薬物分析技術の向上

ATSの不純物分析について、ラオス、ミャンマーでは各1回、カンボジア、ベトナムでは本プロジェクトに拠らないものも含め、2回以上研修が実施された。ベトナムでは6名の分析官が、カンボジアでは1名の分析官が不純物分析を含めた技術を習得しているが、他の2カ国については前駆物質のカラーテストやTLC（Thin-Layer Chromatography：薄層クロマト

グラフィー)が通常業務となっている。

(2) 活動項目2：薬物分析機器のメンテナンスを行う体制が構築される。

GCはカンボジア、ラオス、ミャンマーで一時故障があったが、現在は稼動している。JICAがベトナムの現地業者とのGCの保守管理契約締結を支援し、各国に対して維持管理研修を実施した。各国とも保守管理業者と独自にコンタクトでき、維持管理に係る消耗品やスペアパーツの調達方法もおおむね理解している。しかし、ベトナムを除き維持管理予算の確保は円滑とはいえず、ミャンマーは輸入規制なども制約となっている。なお、カンボジアのガス発生装置の故障に際しては、ONCBによるガスボンベの供与が行われている。

(3) 活動項目3：薬物分析結果が活用されるための薬物データベース構築

2008年3月よりデータベースソフトウェア検討に着手し、7月にコンサルタント契約を締結、12月にソフトウェアが完成し、2009年1月から2月初旬にかけて、各国の薬物分析および取締り部門におけるインストールと操作研修が行われている。各国とも、すでに管理者および操作者を配置しているが、入力や今後の活用についてはミャンマーをはじめとして継続支援の要望が強い。

(4) 活動項目4：薬物対策／取締り機関における簡易判定試薬活用

JICAはタイおよびベトナムでの簡易判定試薬の製造を支援し、各国に配布した（ミャンマーに対してはONCBからの供与も行われた）。簡易判定試薬の研修が実施された（カンボジアでは二国間薬物対策プロジェクトを通じて行われた）。

(5) 活動項目5：薬物取締官のためのマニュアル・ハンドブック整備

カンボジアでは薬品と薬物対策のフィールド技術指針を、ラオスにおいては薬物取締りに係るマニュアルを作成し、現在、内部承認待ち。ミャンマーでは取締りマニュアルを300冊作成し、CCDACでのセミナーなどで配布済み。ベトナムにおいては薬物パンフレットを作成したほか、独自に研修用テキストを作成し活用している。

(6) 活動項目6：薬物取締官の知識・技術向上（取締り一般、分析結果の活用）

薬物取締官向けの研修をカンボジアでは2008年11月に実施。ラオスでは11月上旬に1回目を、2009年1月に2回目を予定。ミャンマーでは2008年8月、10月に実施。12月に3回目を予定していたが延期。ベトナムでは独自予算で定期的およびアドホックな研修を実施。いずれもONCBとJICA専門家に講師として期待するところが大きい。

第4章 評価5項目の評価結果

本プロジェクトは小規模案件であるため、評価5項目のうち、妥当性、有効性、効率性について評価を行った。加えて、自立発展性を見込みを調査した。

4-1 妥当性

本プロジェクトの妥当性は高い。その理由は以下のとおりである。

(1) タイおよびCLMV諸国の政策との整合性

タイとCLMV諸国の違法薬物対策政策は、一国の問題だけではなく、以下に示すような多国間の取り組みを必要としており、各国の政策と高い整合性をもっている。

- ・違法薬物問題は古くから、タイ、ラオス、ミャンマーの3か国にまたがる広域問題であった。さらに90年代に、ベトナム、カンボジアでも汚染が進んだ。薬物の種類も、大麻、アヘン、ヘロインなどから、ATSやコカインなどの合成薬物に移ってきており、生産がより巧妙になってきている。
- ・タイ：第9次国家経済社会計画（2002-2006）では、薬物問題が政府の重点政策に挙げられている。2007年には薬物関連司法手続きが改定されるなど引き続き関心が高い。

(2) ターゲット・グループの選択

ターゲット・グループは、「ONCBの薬物管理（薬物取締り、薬物分析）のインストラクター」と設定されており、成果1、成果2の直接の対象となっている。

フェーズ1を通じて、ONCBは高い能力をもつ職員を擁しており、彼らをインストラクターとして設定するターゲット・グループの選択は適切なものであった。職員の高い能力を地域において示す機会を提供することによって、彼らのコア業務におけるモチベーションを高めることになる。またNATSIやONCBにとっては、プロジェクトにおけるターゲット・グループの活動によって組織自体のプレゼンスの向上に貢献し、引いてはCLMV諸国の薬物取締りおよび薬物分析能力の強化に寄与している。

(3) 日本の援助政策との整合性

日本のODA（Official Development Assistance：政府開発援助）大綱（2003年8月）およびODA中期計画（2005年2月）においては、薬物問題を地球的規模の問題として取り上げている。外務省の「対タイ国別経済協力計画（2006年5月）」では、タイのドナー化支援方針「地域協力の推進（第三国における共同支援）」が示されている。

JICAの「国別事業実施計画（タイ）」（2006年10月）においても、上記国別経済協力計画に沿っており、整合性が非常に高い。

(4) プロジェクトの枠組みの形成プロセス

広域案件としての枠組みに関する関係国間の合意形成は、プロジェクト開始後に行われたため、枠組み形成プロセスとしての妥当性は十分とはいえない。

4-2 有効性

プロジェクトの有効性は中の上レベルである。

(1) プロジェクト目標と成果の達成状況

プロジェクト目標と成果の達成状況は評価グリッドのとおりである。

(2) プロジェクト成果以外による有効性の促進・阻害要因

<促進要因>

JICAはカンボジアにおいて、二国間の薬物対策プロジェクトを実施中であり、円滑な連携と相乗効果が図られた。

<阻害要因>

CLMVからJICAへの要請書の到達が遅れ、CLMVにおける活動開始が遅れた。

4-3 効率性

プロジェクトの効率性は中程度である。

(1) 達成された成果に対する投入の適切さ

日本人専門家の投入の全体規模は適切であったが、最終の8か月に活動負荷が集中してしまった。GCなどの主な機材がフェーズ1で導入されており、フェーズ2では円滑に業務を開始することができた。C/Pは十分な能力をもち、配置も適切であった。経験をもったNATSIのC/Pの1人が2008年11月に異動した。

(2) 成果達成のための効率性

成果1に関しては、日本側からの機材の投入が少なくても、十分な成果を達成することができた。

成果2に関しては、ONCBは彼ら自身のイニシアティブにより、薬物取締官の訓練を実施することができた。また、新たに開発したONCBの薬物データベースは、CLMVでのデータベースと同様のデータ構造を有しており、将来の効率的なデータ交換を実現し得る。

成果3に関しては、リーダーワークショップをCLMV向け活動の最初に実施することにより、各国に薬物分析と薬物取締りに係る標準的な知識を効率的に提供することができた。

(3) プロジェクト成果以外による効率性の促進・阻害要因

<促進要因>

ONCBが、カンボジアおよびミャンマーを二国間ベースで支援している。

<阻害要因>

ミャンマーにおけるGCが長期間使用できない状態にあった。試薬、付属品、メンテナンス・サービスがCLMV各国内で、容易に調達できない場合がある。

輸入手続き等のため試薬、付属品の調達に相当な時間がかかり、活動予定の作成を前倒しで行う必要があった。

4-4 自立発展性の見込み

CNCBは、CLMV諸国からの要請に基づき、技術支援を継続する用意があることから、プロジェクトへ自立発展性の見込みは認められる。しかし、以下の点が課題とされる。

- (1) NATSIスタッフはプロジェクト終了までにIceの不純物分析の手法を習得見込みであるが、そのデータの精度を向上させていくことが課題である。
- (2) ONCBはCLMVに対する人材育成を支援するだけの十分な人材を有し、CLMVからの要請ベースで支援していく意向をもっている。
- (3) NATSI内で協力により移転した知識・技術を他の分析官に伝えていくことが課題である。
- (4) 薬物データベースがCLMVにインストールされたばかりであるため、その運用状況についてモニタリングをしていく必要がある。

4-5 結論

以下の達成事項により、プロジェクト目標「ONCBが周辺国技術指導を行うための薬物対策および分析能力の強化」は、計画どおりに達成する見込みである。

- ・ NATSIはATSのIPに十分な能力を有している。
- ・ NATSIスタッフはICEのIPに係る手続きの知識を習得した。
- ・ ONCBは薬物取締りに係る現地国内研修を独自に実施した。
- ・ 薬物データベースがタイおよびCLMVにインストールされ、薬物分析情報が薬物取締りとつながることが期待されている。
- ・ ONCBの分析官および取締官がCLMV向け研修に講師として参加することを通じて、講義をするだけの十分な能力が強化された。
- ・ ONCBはCLMVに対して教材や試薬、消耗品を独自に供与し、研修効果を高めた。

第5章 提言と教訓

5-1 提言

プロジェクト目標「ONCBが周辺国技術指導を行うための薬物対策および分析能力の強化」は、計画どおりに達成する見込みであり、予定どおりに2009年3月31日で、本プロジェクトを終了することを提言する。

プロジェクトによって得られた成果の自立発展性、ならびにCLMV諸国における活動の持続性を考慮したうえで協力期間中および終了後に向けた提言事項は次のとおりである。

(1) プロジェクト期間中に考慮すべき事項

- 1) ONCBはIce型の不純物分析技術を習得する予定であるが、よりデータ管理を向上させ、分析の精度を維持・向上させることに、より留意を傾けるべきこと。
- 2) 拡大する分析ニーズと周辺国の支援ニーズに効果的に応えるためには、NATSIにおける知識の移転や人事管理を含む人材育成に留意すること。
- 3) 薬物データベースの導入や操作研修の進捗をみながら、技術的なフォローとモニタリングを行うこと。
- 4) 2009年3月には、タイにおいて取りまとめのための地域セミナーを開催し、周辺国との間で、プロジェクトの成果と進捗を共有し、将来的な地域協力を議論すること。JICAは、周辺諸国の参加者経費を支援する。

(2) プロジェクト終了後、CLMV諸国の自助努力を持続させるために考慮すべき事項

- 1) 地域のなかでも、CLMにおけるGCを用いた不純物分析技術の向上は長期的視野で取り組むべき課題である。GCの維持管理への継続的努力を激励すべきであり、長期にわたる自助努力強化のための適時のモニタリングや助言が重要である。
- 2) データベースの継続的かつ有効な活用状況についても、各国の状況ごとに、適時のモニタリングと活用推進が必要である。
- 3) ONCBは、CLMV諸国からの要請に基づき技術支援を継続する用意があることを表明している。

5-2 教訓

(1) 地域協力のプロジェクト形成

地域協力プロジェクトの絞込みや設計、関係国間の合意形成にあたっては、時間軸や手続きの順序についてより慎重に検討することが必要である。二国間R/Dなどを締結する前の時点で地域的な合意形成を図ることが望ましい。

(2) 機材の自立的維持管理

各国機関において、フェーズ1で供与されたGCの安定的運用ができるかどうか、フェーズ2の活動にも影響を与えた。新しい機材の供与にあたっては、担当機関に維持管理コストや予防的措置の必要性を理解させることが不可欠である。加えて、受入れ機関が自国政府

に対し予算要求すること、継続的な運用を確実に進めるよう自立的な維持管理能力を構築するための助言を提供し、受益国側の努力を促進することが重要である。

付 属 資 料

1. Minutes of Meeting (with the Terminal Evaluation Report)
 - ANNEX I : Project Design Matrix for evaluation
 - ANNEX II : Schedule of the Team
 - ANNEX III : Achievement of the Project
 - Table 1 : Assignment of Japanese Expert
 - Table 2 : Counterpart Training in Japan
 - Table 3 : Counterpart Personnel in ONCB
 - Table 4 : Drug Analysts in NATSI
 - Table 5 : Cases of IP by NATSI
 - Table 6 : Training Materials
 - Table 7 : Training for CLMV and its Instructors
 - ANNEX IV : Evaluation Grid for the Project
 - ANNEX V : Achievements to Date and Plan of Activities of Cambodia, Lao P.D.R., Myanmar, and Vietnam until the completion of the Project (March 2009)
 - ANNEX VI : List of Interviewees
2. プロジェクト投入・活動進捗／プロジェクト達成状況
 - 表 1 : 日本側派遣専門家リスト
 - 表 2 : カウンターパート研修員リスト
 - 表 3 : ONCBカウンターパートリスト
 - 表 4 : NATSI分析官とその習得技能
 - 表 5 : NATSIにおける不純物分析の実施状況
 - 表 6 : 研修教材リスト
 - 表 7 : CLMV諸国向け研修と担当講師リスト
 - 表 8 : CLMV諸国向け研修とセミナー実績 (薬物取締り／薬物分析)
3. CLMV諸国の活動進捗と今後の計画
4. 評価グリッド

1. Minutes of Meeting (with the Terminal Evaluation Report)

MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE EVALUATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED
OF THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF THAILAND
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE REGIONAL COOPERATION PROJECT
ON
CAPACITY BUILDING OF DRUG ANALYSIS
FOR IMPROVEMENT OF DRUG LAW ENFORCEMENT
IN THAILAND, CAMBODIA, LAO P.D.R., MYANMAR, AND VIETNAM
PHASE II

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) headed by Ms. Kyoko Kuwajima, visited Thailand, Cambodia, Lao P.D.R., Myanmar and Vietnam (hereinafter referred to as “CLMV”) from January 11 to January 29, 2009 for the purpose of conducting the terminal evaluation concerning the Japanese Technical Cooperation for the Regional Cooperation Project on Capacity Building of Drug Analysis for Improvement of Drug Law Enforcement Phase II (hereinafter referred to as “the Project”).

During its stay in Thailand, the Team had a series of discussion with the Thai authorities concerned and jointly evaluated the achievements of the Project and exchanged views on the Project activities to fulfill the Record of Discussions signed on September 21, 2006.

As a result of the discussions, the Team and the Thai authorities concerned agreed to report to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Bangkok, January 28, 2009



Ms. Kyoko Kuwajima

Team Leader
Japanese Evaluation Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Pol. Lt. Gen. Krisna Polananta

Secretary-General
Narcotics Control Board
Ministry of Justice
Kingdom of Thailand

ATTACHED DOCUMENT: THE EVALUATION REPORT

TABLE OF CONTENTS

1. Purpose of the Evaluation
 - 1-1. Purpose of the Evaluation
 - 1-2. Methodology of Evaluations
 - 1-3. Members of the Joint Evaluation

2. Project Achievements
 - 2-1. Achievement of Inputs
 - 2-2. Achievement of Project Outputs

3. Evaluation Results (Four Criteria of Evaluation for the Project)
 - 3-1. Relevance
 - 3-2. Effectiveness
 - 3-3. Efficiency
 - 3-4. Prospects for Sustainability

4. Conclusion and Recommendations
 - 4-1. Conclusion of the Evaluation
 - 4-2. Recommendations
 - 4-3. Lessons learnt

(ANNEXES)

ANNEX I: Project Design Matrix for evaluation

ANNEX II: Schedule of the Team

ANNEX III: Achievement of the Project

Table 1: Assignment of Japanese Expert

Table 2: Counterpart Training in Japan

Table 3: Counterpart Personnel in ONCB

Table 4: Drug Analysts in NATSI

Table 5: Cases of IP by NATSI

Table 6: Training Materials

Table 7: Training for CLMV and its Instructors

ANNEX IV: Evaluation Grid for the Project

ANNEX V: Achievements to Date and Plan of Activities of Cambodia, Lao P.D.R., Myanmar, and Vietnam until the completion of the Project (March 2009)

ANNEX VI: List of Interviewees

2

1. Purpose of the Evaluation

1-1. Purpose of the Evaluation

The objectives of the evaluation were as follows;

- (1) To review and confirm the achievements and the implementation process of the Project, as indicated by documents such as the Record of Discussions (R/D) and the Minutes of Meetings (M/M) signed on May 13, 2008 including the Project Design Matrix (PDM)
- (2) To evaluate the achievements and outcome of the Project in terms of three evaluation criteria, namely relevance, effectiveness, and efficiency as well as to provide recommendations from the viewpoints of sustainability.
- (3) To examine whether the Project has achieved the Project purpose and to discuss remaining issues to be tackled during and after the Project.
- (4) To make recommendations to the further perspectives of the Project and to draw lessons learnt from the Project for the field of technical cooperation.

1-2. Methodology of Evaluation

The evaluation was jointly conducted by the Japanese and Thai sides. The Project was evaluated based on the PDM agreed on May 13, 2008. (See ANNEX I)

The activities and present conditions of CLMV are monitored based on the activity plan agreed on May 13, 2008. The result of monitoring is reflected on the evaluation of the achievement of output 3 and the important assumptions in the PDM.

The Team conducted the evaluation as the schedule attached in ANNEX II.

Evaluation Criteria

The following four evaluation criteria are applied to the project evaluation.

- (1) Relevance: The Project's relevance is assessed in terms of validity of the Project Purpose and Overall Goal in relation to the development policy of the Government of Thailand and the needs of the Project beneficiaries.
- (2) Effectiveness: Effectiveness is determined based on whether the Project has actually benefited the target group. It also assesses whether the Project Purpose is being achieved as expected and whether this is due to the project's Output.
- (3) Efficiency: An assessment of the Project's efficiency verifies whether the project used its resources effectively. The relationship between Input and Output is reviewed. In essence, this criterion examines whether the input cost was commensurate with the degree to which the Output and the Project Purpose have been achieved.
- (4) Sustainability: The project's sustainability is assessed by focusing on the Project's institutional, financial and technical aspects in an examination of the extent to which the Project's achievement have been sustained or extended at this point.

u

1-3. Members of the Joint Evaluation

<Japanese Side>

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| (1) Ms. Kyoko KUWAJIMA | Team Leader |
| (2) Mr. Yoichiro KIMATA | Cooperation Planning |
| (3) Mr. Joji TERAHARA | Evaluation Analysis |

<Thai Side>

- | | |
|---------------------------------|--|
| (1) Mr. Chartchai Suthiklom | Senior Narcotics Control Advisor, Office of Narcotics Control Board (ONCB) |
| (2) Mr. Kraivudh Maneeratana | Law Enforcement Officer, ONCB |
| (3) Mr. Thanapol Thanikkul | Foreign Relations Officer, ONCB |
| (4) Ms. Mayurashatr Pandhusastr | Senior Foreign Relations Officer, ONCB |
| (5) Ms. Kanyanan Kongpatnitiroj | Senior Scientist, NATSI, ONCB |
| (6) Mr. Pichet Khemthong | Program officer, Evaluation Unit, Thailand International Development Cooperation Agency (TICA) |

2. Achievement of the Project (SEE ANNEX III)

Achievement of the Project is summarized as follows:

2-1. Achievement of Inputs

2-1-1. Inputs from the Japanese Side

(1) Long-term Experts

Three long-term experts (57.73 M/M: Law Enforcement, Drug Analysis, and Project Coordinator) were assigned.

(2) Short-term Experts

Eight experts from three fields (Law Enforcement, Drug Analysis, and Project Coordinator) were assigned. Total 28.58 M/M Inclusive of scheduled assignment up to March 2009.

(3) Provision of Equipment

The following equipments have been provided for the Project.

- Computer software for ICE analysis (JPY 1,880,000 in 2006)
- Large size printer (Local procurement. THB 118,030 in 2008)
- Three Personal Computers for Database with accessories. (Local procurement THB 131,610 in 2008)

(4) Counterpart Training in Japan

Training for two Thai counterparts has been conducted in three weeks in September 2007.

(5) Consultant Contract

Two contracts were made.

- Gas Chromatography (GC) Maintenance Training (By Tramet Co. Ltd)
- Drug Database Development (By InfoMania Co. Ltd)

2-1-2. Inputs from the Thai side

(1) Counterpart Personnel

Eleven counterpart (C/P) personnel from three sections (Administration, Law Enforcement, and Laboratory) of ONCB were assigned.

(2) Provision of office space, training room, and other necessary facility

ONCB provided the following facility and undertakings.

- Two rooms at ONCB Headquarters and another room at Narcotics Analysis and Technical Service Institute (NATSI).
- One secretary

2-1-3. Operational Cost

General budget of ONCB bears the operational cost. TICA supports necessary budget for the secretary and the driver for JICA experts. Special account is not established for the Project. JICA defrays the travel cost for C/P.

2-1-4. Maintenance Cost of Equipment

NATSI procures the necessary chemicals and gas by its own budget.

2-2. Achievement of Project Outputs

(1) Output 1: NATSI laboratory's capabilities to analyze drugs and related materials are upgraded

The Project is going to achieve the Output 1 at the moderate level based on the following facts and observations:

- The skill of signature analysis of tablet-type drug reached to the instructor level.
- The skill of Impurity Profiling and Signature Analysis (IP) of amphetamine-type stimulants (ATS) has been upgraded.

The quality assurance of IP is increasingly important. It is required to maintain and improve the preciseness of IP by more appropriate data management and accumulation.

In addition, NATSI continues to develop its laboratory human resources with higher effectiveness in terms of future sustainability of the institute.

(2) Output 2: The linkage between drug analysis and drug law enforcement work is strengthened

The Project achieved the Output 2 at the high level based on the following facts and observations:

ONCB information system linked the data from drug analysis to the information necessary for

②

u

law enforcement. Law Enforcement Bureau can browse the data for reference.

1) Digital photos of seized drug are sent to NATSI. NATSI can return the police station with the profiled result.

2) All police stations have test kits.

3) ONCB drug analysts have training for local drug law enforcement officers to utilize the results of drug analysis.

ONCB developed law enforcement training materials by itself.

Database system has been updated and utilized.

(3)Output 3: Capabilities of ONCB instructors are strengthened in conducting training in the field of law enforcement and drug analysis/ impurity profiling

The Project will be achieving the Output 3 at the high level based on the following facts and observations:

ONCB performed its leadership by introducing advanced skills and actual cases for CLMV in-country training. In addition, ONCB occasionally provided advice to CLMV on a bilateral basis. With more experience and higher knowledge than those of CLMV counterparts, ONCB instructors have significantly contributed to the upgrading knowledge of CLMV. Lao P.D.R. has language similarity with Thailand and it also advantages Thailand in offering support. In addition to the routine activity of information exchange in the region, it is also expected that Thailand would provide more comprehensive assistance such as technical training and equipment supply on request.

List of instructors on drug analysis has been made. NATSI currently has eleven scientists. Among them; three capable of IP, five capable of signature analysis, nine capable to teach, and three currently conduct training.

Teaching materials have been developed. Many materials for ONCB human resource development are accumulated in the Library or in the Training Institute.

(4) Achievement to Date and Plan of Activities of CLMV until completion of the Project

The process of activities has been monitored vis-a-vis the plan of operations confirmed in May 2008. (SEE ANNEX V)

3. Evaluation Results (SEE ANNEX IV)

Evaluation results by four criteria are summarized as follows:

3-1. Relevance

Relevance of the Project is high based on the following reasons:

(1) Consistency with the policies of Thailand

The drug problem had been a regional problem among Thailand, Myanmar and Lao P.D.R.. In 1990s, it involved Vietnam and Cambodia. At the same time, the types of illegal drugs changed

from cannabis, opium and heroin to synthetic drugs such as ATS and cocaine.

Royal Thai Government focused drug problem as government's priority in the Ninth Economic and Social Development Plan (2002-06). The Government continuously prioritized the drug control as the national agenda and enacted *the Act on Procedure of Narcotics Case* in 2007.

(2) Appropriateness of Target Group

As indicated in the PDM, the Project specifies "Prospective Instructors for Drug Control (Law Enforcement, Drug Analysis)" as the target group of the Project.

The targeting is appropriate because ONCB has developed its highly capable staff through the Phase I. Providing the opportunities for them to perform as capable instructors in the region leads to their further motivation in their core business. It is expected that higher performance of instructors will contribute to the furtherance of the presence of NATSI, ONCB in the region.

(3) Consistency with Policy of Japanese Government

The Japan's ODA Charter (August 2003) and the ODA Mid-Term Policy (February 2005) addresses the drug problems to be prioritized as a global issue. In Japan's Cooperation Program for Thailand (May 2006), Ministry of Foreign Affairs (MOFA) supports Thailand' effort as a donor country. And it also emphasizes the drug problem as a threat for human security and social stabilization. Thus, the Project is relevant to it.

(4) Consistency with JICA's Program

JICA's Program Implementation Plan to Thailand (October 2006) is consistent with MOFA's programs. The Project is relevant to the Plan.

(5) Relevance in Formulation of Project Framework to deal with the Issue

Japan has sufficient experience in drug analysis and law enforcement based on scientific evidence. Japanese experts are capable to transfer their technology to Thai and other CLMV organizations.

In terms of project framework, due to the delay of procedure, consensus building among participating countries was made after the signing of the R/D between Thailand and Japan.

3-2. Effectiveness

Effectiveness of the Project is between high and moderate based on the following reasons:

(1) Achievement of the Project Purpose

Project Purpose: ONCB develops stronger capacity on drug analysis and IP to offer further technical support to regional counterparts in the area of law enforcement and drug analysis/ IP.

The Project Purpose will be achieved at moderate level. NATSI's capability has been upgraded and it is recognized as a full fledged institute in the region. ONCB counterpart acquired their

3

u

skill to teach and train regional counterpart in CLMV.

(2) Achievement of the Output

As summarized in 2-2, Output 1 to 3 will be so successfully achieved that the Outputs contributed to the achievement of the Project Purpose above.

(3) External Factors

Contributing Factor

JICA implements a bilateral drug control project in Cambodia. A smooth linkage and synergy have been observed.

Inhibiting Factor

Due to the delay of the submission of official requests from CLMV to Japan, activities in CLMV delayed.

3-3. Efficiency

Efficiency of the Project is moderate based on the following reasons:

(1) Efficiency of Input against Output

Japanese Expert

Total input of Japanese Experts is adequate. However, Japanese Experts and Thai Counterparts had heavy workload during the last eight months of the project period.

Provided Equipment

Major analytical equipments such as GC had been introduced to NATSI in Phase I. It promoted smooth start at Phase II.

Thai Counterpart

Thai Counterpart had sufficient capability and their assignment was appropriate. One of the experienced counterparts from NATSI moved to another position in November 2008.

(2) Efficiency to Achieve Output

Output 1

The Output 1 will be achieved despite small input of equipment from the Japanese side.

Output 2

ONCB implemented the training for law enforcement officers on its own initiatives. In addition, newly developed ONCB drug database has common data structure with CLMV database. It will form more effective base for further efficient data exchange.

③

Output 3

Leaders' Workshops at the initial stage of activity facilitated a smooth dissemination of standardized knowledge on drug analysis and law enforcement. They also motivated the leaders in CLMV.

(3) External Factors

Contributing Factor

ONCB occasionally supported Cambodia and Myanmar on bilateral bases.

Inhibiting Factors

GC in Myanmar was out of service for a long time. Some reagents, accessories and maintenance were not easily available in CLMV.

Procurement of accessories and reagents took time because of import procedure. It required careful scheduling of activity in far advance.

3-4. Prospects for Sustainability

(1) The scientists of NATSI will acquire the knowledge on methodology of IP on "crystal-type methamphetamine" (ICE) by the completion of the Project. But they still have a challenge on improvement of its accuracy and analysis of the result data for sustaining and developing acquired skills.

(2) ONCB has a sufficient technique and ability to support human resource development in CLMV. Based on the outputs of the Project, it should be considered how ONCB contributes to human resource development on drug analysis and drug intelligence in CLMV. In this regard, ONCB continues policy of close dialogue and technical assistance to CLMV.

(3) In addition, NATSI faces a challenge to transfer the knowledge and techniques of the counterparts to other scientists for responding to the needs of IP on ICE or to the needs of technical assistance to the laboratories in CLMV in the future.

(4) Drug profiling database was just or will be installed into the laboratory and the institutions in CLMV. The progress of its operation needs to be monitored for sustainable use of the database.

4. Conclusion and Recommendations

4-1. Conclusion of the Evaluation

There have been the achievements since the Project started in September 2006. Main achievements are shown below.

- NATSI has already had enough capacity of IP of ATS.
- Counterpart scientists in NATSI have acquired the knowledge on the procedure of IP of

ICE.

- ONCB conducted in-country training on drug law enforcement by its own.
- Drug profiling database was installed into CLMV and Thailand and was expected to link drug analysis data with drug law enforcement.
- ONCB scientists and law enforcement officers strengthened their capacity of delivering the lecture through participating in CLMV training courses as instructors.
- ONCB has provided additional support on materials, chemicals, and consumables to CLMV on its own, which added value on the effect of training.

Based on the above achievements, “ONCB’s capacity on drug analysis and IP to offer further technical support to regional counterparts in the area of law enforcement and drug analysis / IP” has been strengthened.

4-2. Recommendations

As mentioned in the previous clause, the objective of the Project will be mostly achieved by the end of the Project despite the delay in project activities in CLMV. It is recommended that the Project would be completed as originally scheduled.

Considering the sustainability of the outcome of the Project and the self-help efforts in the CLMV, the following issues need to be considered during and after the Project .

(1) Issues to be considered during the Project

- 1) More attention should be paid to maintaining and improving the preciseness of IP of ICE by more advanced data management and analysis techniques.
- 2) Knowledge transfer and personnel management should be maintained in NATSI in response to future sustainability of the institute.
- 3) Technical follow-up and monitoring of the Drug Profiling Database is necessary for CLMV according to the progress of its installation and operational training.
- 4) It is preferable to hold a conclusive regional seminar in Thailand in March 2009 for sharing the results and achievements of the Project among Thailand and CLMV and discussing future prospects on regional cooperation. The costs necessary for CLMV participants to join the seminar will be borne by JICA.

(2) Issues to be considered for sustaining self-help efforts of CLMV after the completion of the Project

- 1) It is important to develop and sustain the capacity on drug analysis by using GC in the region, especially in Cambodia, Laos, and Myanmar from longer perspectives. Sustained efforts of maintaining GCs should also be encouraged in the countries for securing stable condition of drug analysis. Occasional monitoring and advisory support is necessary for enhancing their self-reliant operation over the course of time.
- 2) Continual and effective use of drug profiling database should be occasionally monitored

and encouraged in CLMV for applying drug analysis data to drug law enforcement according to each country's condition and request.

- 3) ONCB expressed its willingness to continue its technical assistance to those countries based on the requests.

4-3. Lessons Learnt

(1) Project formulation of regional cooperation

More deliberate timeframe and procedural sequencing should be considered for regional cooperation (in comparison with regular bilateral cooperation) in terms of scoping and designing of the project as well as consensus building among participating countries, especially at the stage of project formulation. It is advisable to form regional consensus on the cooperation framework well in advance before signing formal agreement such as the R/D on a bilateral basis.

(2) Self-reliant Maintenance of Equipment

The unstable operation of GCs provided in Phase I Project obstructed the project activities in the Phase II. In introducing new equipments in the technical cooperation project, it is indispensable for counterpart agencies to understand the necessary maintenance cost and preventive measures of the equipments. In addition, it is important to facilitate recipient countries' efforts in securing necessary budget from their own governments and ensuring stable operation by providing advices for building the capacity of self-reliant maintenance.

Annex I PROJECT DESIGN MATRIX (PDM)

Project Name: THE REGIONAL COOPERATION PROJECT ON CAPACITY BUILDING OF DRUG ANALYSIS FOR IMPROVEMENT OF DRUG LAW ENFORCEMENT IN THAILAND, CAMBODIA, LAO PDR, MYANMAR, AND VIETNAM PHASE 2

Target Group: Prospective Instructors for Drug Control (Law Enforcement, Drug Analysis)

Implementing Agency: ONCB (Office of Narcotic Control Board)

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators
<p>Overall Goal</p> <p>The drug control cooperation framework is strengthened, especially for drug investigation based on scientific evidence obtained from drug analysis in Cambodia, Lao PDR, Myanmar, Vietnam, and Thailand.</p>	<p>1 The results of drug analysis are exchanged between the related organizations in the region.</p> <p>2 The list of resource persons (instructors for drug control and drug analysis, maintenance engineers, database consultants) is shared among the participating countries.</p>
<p>Project Purpose</p> <p>ONCB develops stronger capacity on drug analysis and impurity profiling to offer further technical support to regional counterparts in the area of law enforcement and drug analysis / impurity profiling.</p>	<p>1 The Narcotics Analysis and Technical Service Institute (NATSI) of the Office of the Narcotics Control Board (ONCB) is upgraded to the full fledged institute in the region on drug analysis and impurity profiling.</p> <p>2 ONCB counterparts can serve as trainers/lecturers for drug control and drug analysis training courses.</p>
<p>Outputs</p> <p>1 NATSI laboratory's capabilities to analyze drugs and related materials are upgraded.</p>	<p>1 The drug analysts of the NATSI, ONCB, acquire the skills in impurity profiling and signature analysis.</p>
<p>2 The linkage between drug analysis and drug law enforcement work is strengthened.</p>	<p>1 Operational guideline/manual/handbook for anti-narcotics law enforcement officers is developed /distributed /utilized.</p>
<p>3 Capabilities of ONCB instructors are strengthened in conducting training in the field of law enforcement and drug analysis/ impurity profiling.</p>	<p>1 ONCB counterparts are able to give guidance/advice in the field of law enforcement and drug analysis if requested by regional counterparts.</p> <p>2 The list of ONCB instructors for drug control and drug analysis is compiled.</p> <p>3 Teaching materials (textbooks, presentation files) for drug control and drug analysis are stored at ONCB.</p>
<p>Activities</p> <p>1-1 To assess the capabilities of NATSI laboratory to analyze drugs and related materials.</p> <p>1-2 To improve training materials in drug analysis, including impurity profiling and signature analysis (IP).</p> <p>1-3 To conduct training of drug analysts based on the 1-1 and 1-2 activities.</p> <p>2-1 To assess the capabilities of law enforcement officials in utilizing the results of drug analysis.</p> <p>2-2 To improve training materials in law enforcement.</p> <p>2-3 To conduct training of law enforcement based on the 2-1 and 2-2 activities.</p> <p>2-4 To develop a guideline for law enforcement officers which describes appropriate steps in drug investigation procedure.</p> <p>2-5 To examine better methods to accumulate and analyze the results of drug analysis for more effective drug control and investigation in Thailand, which could be an applicable option for CLMV countries</p> <p>3-1 To identify/assess training needs in CLMV countries for drug law enforcement and drug analysis.</p> <p>3-2 To improve on/develop training course plan/curriculum for the needs identified through 3-1 activity.</p> <p>3-3 To improve on/develop training materials for 3-2 plan /curriculum.</p> <p>3-4 To conduct training courses based on the outputs of activities 3-2 and 3-3.</p> <p>3-5 To evaluate the 3-4 activity's results and draw lessons-learned.</p> <p>3-6 To improve on course plan and training materials based on 3-5 results.</p>	<p>Inputs</p> <p>Japanese side</p> <p>1 Dispatch experts</p> <p>(1) Long Term experts</p> <p>a Law Enforcement</p> <p>b Drug Analysis</p> <p>c Project Coordinator</p> <p>(2) Dispatch of Short-term experts</p> <p>a Drug Analysis</p> <p>b Other areas upon consultation</p> <p>2 Provision of Equipment</p> <p>Necessary equipment for training</p> <p>3 Training of counterpart personnel in Japan</p> <p>4 Support for terminal evaluation</p>

3

//

u

Annex I PROJECT DESIGN MATRIX (PDM)

Cooperation Period: September
25,2006~March 31,2009 (2.5 years)

Date: May 13, 2008
PDM Version 1 (Thailand)

Means of Verification	Important Assumptions
<ol style="list-style-type: none"> 1 Project records or participating organizations' records 2 List of resource persons 	
<ol style="list-style-type: none"> 1 ONCB's activity reports (budget, equipment, and human resources) 2 Reports of training courses and teaching materials the counterparts developed 	<ol style="list-style-type: none"> 1 GCs and related drug analysis equipment are well-maintained and operational in each CLMV country. 2 CLMV counterparts trained in the area of drug analysis, drug control serve as trainers in their respective countries.
<ol style="list-style-type: none"> 1 Project records and interview of NATSI's drug 	<ol style="list-style-type: none"> 3 Drug profiling database in the common format is developed and installed in CLMV countries.
<ol style="list-style-type: none"> 1 Teaching materials for in-country training 	<p>ONCB's budget allocation and staffing would remain at the current level. Political, social, and economic conditions would not change dramatically.</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1 Training reports and evaluation from training 2 List of instructors 3 Teaching materials for regional workshops 	
<p>Thai side</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Assignment of counterpart personnel and <ol style="list-style-type: none"> (1) Project Director (2) Project Manager (3) Counterpart personnel for Law enforcement (4) Counterpart personnel for Drug analysis (5) Counterpart personnel for Training (6) Counterpart personnel for Coordination (7) Other Counterpart personnel (8) Administrative staff (9) Secretaries, drivers for Japanese experts and other necessary support personnel 2 Provision of office space, training room, and other necessary facilities including offices for JICA experts, meeting room and Training 3 Operational costs for the Project activities, travel allowance for CPs, domestic telecommunication, or such running expenses 4 Maintenance fee for analytical equipment <ol style="list-style-type: none"> (1) maintenance and repair cost (2) running cost including expendables 	<p style="text-align: center;">Pre-conditions</p> <p>Necessary arrangements for project commencement are completed.</p>

ll

ANNEX 11

Schedule on Terminal Evaluation on Drug Project II

	Day			Kuwajima	Terahara	Kimata	Stay
1	Jan. 11	Sun	AM		11:00NRT→HAN15:10 (JL5135)		Hanoi (3 nights)
			PM				
2	Jan. 12	Mon	AM		10:00 SODC		
			PM		14:00 SODC		
3	Jan. 13	Tue	AM		10:00 IFS		Phnom Penh
			PM		14:00 CNPD		
4	Jan. 14	Wed	AM		08:30HAN-PNH11:50 (VN841)		Bangkok (3 nights)
			PM		15:00 NACD		
5	Jan. 15	Thu	AM		10:00 NACD (Labo.)		Bangkok (3 nights)
			PM		14:00 NACD (LE)		
					21:10PNH→BKK22:15 (TG699)		
6	Jan. 16	Fri	AM		09:00 ONCB		Bangkok (3 nights)
			PM		14:00 ONCB (NATS1)		
7	Jan. 17	Sat	AM		Minutes Making		Yangon (2 nights)
			PM		Minutes Making		
8	Jan. 18	Sun	AM		Minutes Making	10:55NRT→BKK16:00 (JL717)	Yangon (2 nights)
			PM		17:55BKK→RGN18:40 (TG305)		
9	Jan. 19	Mon	AM		07:00RGN→NPT07:55 (HK731)		Bangkok (1 night)
			PM		10:00 CCDAC		
					NPT→RGN (by car)		
10	Jan. 20	Tue	AM		09:00 CEO		Bangkok (1 night)
			PM		19:40RGN→BKK21:20 (TG306)		
11	Jan. 21	Wed	AM		10:00 ONCB		Vientiane (2 nights)
			PM		13:30 ONCB (NATS1)		
					18:50BKK→VTE20:10 (QV425)		
12	Jan. 22	Thu	AM		09:00 LCDC		Bangkok (6 nights)
			PM		14:00 FDQCC		
13	Jan. 23	Fri	AM		09:00 DCD		Bangkok (6 nights)
			PM		16:30VTE→BKK17:50 (QV415)		
14	Jan. 24	Sat	AM		Minutes Making		
			PM				
15	Jan. 25	Sun	AM	10:55NRT→BKK16:00 (JL717)	Minutes Making		Bangkok (6 nights)
			PM				
16	Jan. 26	Mon	AM	10:30 Meeting with JICA Experts			
			PM	13:00 Minutes Consultation (Achievement & 3 Eva. Criteria)			
17	Jan. 27	Tue	AM	09:00 Minutes Consultation (Recommendations & Lessons)			Bangkok (6 nights)
			PM				
18	Jan. 28	Wed	AM	09:00 Confirmation on Minutes 11:00 Minutes Signing			Bangkok (6 nights)
			PM	Report to EOJ and JICA office			
19	Jan. 29	Thu	AM				Bangkok (6 nights)
			PM	[C&Ku] 0815BKK→NRT1600 (JL708)		2230BKK→	
20	Jan. 30	Fri	AM			→NRT0615 (JL718)	
			PM				

③

13

k

ANNEX III ACHIEVEMENT OF THE PROJECT

(1) INPUT FROM JAPANESE SIDE

Categories	Data Source	Summary of Inputs Accomplished until January 2009	Reference
Input from Japanese side	-Progress Report -C/P and J/E -Questionnaire		
J1. Experts (1) Long-term expert	-Ditto-	-Three long-term experts (57.73M/M; Law Enforcement and Drug Analysis, and Project Coordinator) were assigned. -R/D assumed 60 M/M of two long-term experts (Law Enforcement and Project Coordinator).	Table 1
(2) Short-term expert	-Ditto-	-Eight experts from three fields (Law Enforcement, Drug Analysis and Project Coordinator) were assigned. Total 28.58M/M. Inclusive of scheduled assignment up to March 2009. -R/D assumed Drug Analysis Expert to be assigned as short-term expert with indefinite duration.	
J2. Provision of equipment	-Ditto-	To Thailand -Computer software for ICE analysis (Japanese Yen 1,880,000 in 2006) -Large size printer (Local procurement. Thai Baht 118,030 in 2008) -Three personal computers for database with accessories. (Local procurement Thai Baht 131,610 in 2008)	
J3. Training of counterpart personnel in Japan	-Ditto-	-Conducted in September 2007. Two participants from ONCB. Three weeks.	Table 2
J4. Others	-Ditto-	Consultant Contract -GC Maintenance Training (By Trammat Co. Ltd.) -Drug Database Development (By InfoMania Co. Ltd.)	

(2) INPUT FROM THAI SIDE

Categories	Data Source	Summary of Inputs Accomplished until January 2009	Reference
Input from Thai side	-Progress Report -C/P and J/E -Questionnaire		
T1. Assignment of C/P personnel	-Ditto-	-Eleven C/Ps have been assigned from three sections (Administration, Law Enforcement, and Laboratory) of ONCB. -JCC members are functioning. -Nine analysts have been hired to strengthen NATSI.	Table 3
T2. Provision of office space, training room, and other necessary facility.	-Ditto-	-Two rooms at ONCB Headquarters and another room at NATSI. -One secretary.	
T3. Operational Cost	-Ditto-	-General budget of ONCB bears the operational cost. Thailand International Development Cooperation Agency supports necessary budget for the secretary and a driver for J/E. Special account is not established for the Project. -JICA defrays the travel cost for C/P.	
T4. Maintenance Cost of Equipment	-Ditto-	-NATSI procures the necessary chemicals and gas by its budget.	

(3) PERFORMANCE OF ACTIVITIES

Activities	Data Source	Summary of Activities Accomplished until January 2009	Reference
1-1 To assess the capabilities of NATSI Laboratory to analyze drug and related materials.	-Progress Report -C/P and J/E -Questionnaire	-From December 2006 to March 2007, J/E and C/P discussed the situation of NATSI's capability for drug analysis.	Table 4 and Table 5
1-2 To improve training materials in drug analysis, including impurity profiling (IP) and signature analysis.	-Ditto-	-J/E prepared a textbook of drug analysis by using GC-MS (Nov. 2007). -J/E prepared an Excel table of "Searching Similarity between one Specific Sample against Multi Samples." (Dec. 2008) -C/P described a manual of Yaba tablet classification (Jan. 2009).	Table 6
1-3 To conduct training of drug analyst based on the 1-1 and 1-2 activities.	-Ditto-	-J/E conducted training on drug analysis by On-the-Job base in Thailand. (1) Oct. - Nov. 2006 IP analysis (2) Dec. 2006- Mar. 2008 Analysis of Cannabis, Opium, and Methamphetamine. Total 27 times. C/P 42 man-days. In order to analyze ICE, GC software was updated to a new one brought by J/E. (3) Oct. 2008-Mar. 2009 Improvement of skills to analyze sensitive cases such as ICE. Prevention techniques of contamination.	
2-1 To assess the capabilities of law enforcement officials in utilizing the results of drug analysis.	-Ditto-	From Dec. 2006 to Jan. 2007, J/E and C/P discussed the situation of law enforcement capability in utilizing the results of drug analysis.	
2-2 To improve training materials in law enforcement.	-Ditto-	-The textbooks and materials were developed by ONCB.	Table 6
2-3 To conduct training of law enforcement officers based on 2-1 and 2-2.	ICC (Jan. 2009)	ONCB conducted the training for law enforcement officers by their own budget as follows: Title: Training of Utilization of Drug Impurity Profiling for Law Enforcement Duration: July-August 2008. Budget: Thai Baht 601,785. Venue: Five locations (Surathani, Pittsanulok, Ubon Ratchathani, Rayong and Petchuburi) Instructor: ONCB staff from Law Enforcement Bureau and NATSI. Participant: 98 law Enforcement officers (ONCB, Provincial Administration, Royal Thai Army, Bangkok Metropolitan Police, Border Patrol Police, and 32 Provincial Police Divisions).	
2-4 To develop a guideline for law enforcement officers which describes appropriate steps in drug investigation procedure.	-Ditto-	Data unavailable.	

3

15

R

(3) PERFORMANCE OF ACTIVITIES (Continued)

Activities	Data Source	Summary of Activities Accomplished until January 2009	Reference
2-5 To examine better methods to accumulate and analyze the results of drug analysis for more effective drug control and investigation in Thailand, which could be an applicable option for CLMV.	J/E Report (April 2008)	-To utilize drug analysis results for law enforcement, development and introduction of drug database based on the ONCB classification are considered to be effective. This leads to link the analyzed drug information (general, appearance, and qualitative/ quantitative analysis results) and law enforcement information (general, suspect, case, and related information).	
3-1 To identify/assess supporting needs in CLMV countries for drug law enforcement and drug analysis.	JCC (June 2007), J/E Report (Apr. 2007)	J/E and C/P visited CLMV between December 2006 and January 2007 to identify their needs of support. -Some countries had limited usage of GCs because of insufficient maintenance fund and analytical skill. -CLMV expressed supporting needs of ATS drug analysis including the physical appearance. In Mar. 2007, Initiation Seminar, which was a joint meeting among CLMVT and JICA, was held to set the following targets. 1: Continuation of IP analysis by GC. 2: Introduction of drug analysis database of tablet type drugs to CLMV. 3: Improvement of drug analysis capability. 4: Provision of IP technique of ICE by GC to Thailand and Vietnam. (This item had been deleted later because Vietnam could not prepare a GC for exclusive use for ICE.)	
3-2 To improve on/develop training course plan/ curriculum for the needs identified through 3-1 activity.	JCC (June 2007), J/E Report (Apr. 2007)	Based on the discussion above, the following training schedule was planned. [Drug Analysis] 2007 July, Sep. (Twice) Regional Workshops in Thailand Aug.-Sep. Preparation of In-Country Training Sep.- 2008 Mar. Implementation of In-Country Training 2008 July, Sep. (Twice) Regional Workshops in Thailand Aug.-Sep. Preparation of In-Country Training Sep.- 2009 Mar. Implementation of In-Country Training [Law Enforcement] 2007 June, July. (Twice) Regional Workshops in Thailand Aug.-Sep. Preparation of In-Country Training Sep.- 2008 Mar. Implementation of In-Country Training 2008 June, July. (Twice) Regional Workshops in Thailand Aug.-Sep. Preparation of In-Country Training Sep.- 2009 Mar. Implementation of In-Country Training	Table 6
3-3 To improve on/develop training materials for 3-2 plan/ curriculum.	-Ditto-	Based on the plan, J/E and C/P prepared training materials. J/E and C/P advised material development and curriculum.	Table 3

3

16

1

(3) PERFORMANCE OF ACTIVITIES (Continued)

Activities	Data Source	Summary of Activities Accomplished until January 2009	Reference
3-4 To conduct training courses based on the outputs of activities 3-2 and 3-3.	-Ditto-	<p>The Project conducted the following training and workshops.</p> <p>-Leaders' Workshop in Thailand</p> <p>Law Enforcement First Workshop on 07/16/4-6/8 5 participants per country x 4 Second Workshop on 07/17/23-7/27 5 participants per country x 4</p> <p>Drug Analysis Workshop on 07/16-7/20 2 participants per country x 4</p> <p>-In-Country Training</p> <p>Law Enforcement Seminar</p> <p>Cambodia</p> <p>08/4/24 at Siem Reap, 20 participants (supported by bilateral project.)</p> <p>08/11/24-28 at Phnom Penh, 79 participants</p> <p>Lao PDR]</p> <p>08/11/4-7 at Vientiane, 30 participants</p> <p>09/1/13-16 at Pakse, about 32 participants</p> <p>09/2/3-5 at Luang Prabang, about 40 participants (scheduled)</p> <p>Myanmar</p> <p>08/8/26-28 at Nay Pyi Taw, 30 participants</p> <p>08/10/7-9 at Nay Pyi Taw, 30 participants</p> <p>09/2 at Nay Pyi Taw, 30 participants (scheduled)</p> <p>Drug Analysis Seminar</p> <p>Cambodia</p> <p>08/03/24-26 at Phnom Penh, 8 participants</p> <p>08/5/29-30 at Phnom Penh, 6 participants</p> <p>Lao PDR</p> <p>08/3/11-13 at Vientiane, 6 participants</p> <p>08/12/15-19 at Vientiane, 6 participants</p> <p>Myanmar</p> <p>08/12/22-24 at Yangon, 10 participants</p> <p>Vietnam</p> <p>08/3/17-20 at Hanoi and Ho Chi Minh City, about 10 participants x 2</p> <p>-GC Maintenance Workshop(08/9-11)</p> <p>Three days per each CLMV. Conducted by Tram Co. Ltd. (One day for maintenance, Two days for Workshop. Vietnam h</p> <p>-Drug Profiling Database Install Workshop(09/1-2)</p> <p>2-3 days for each CLMV by InfoMania.</p>	Table 7

3

17

1

(3) PERFORMANCE OF ACTIVITIES (Continued)

Activities	Data Source	Summary of Activities Accomplished until January 2009	Reference
3-5 To evaluate the 3-4 activity's results and draw lessons-learned.	-Ditto-	Some instructors adjust the contents by the trainees' level.	
3-6 To improve on course plan and training materials based on 3-5 results.	JICA Consultation Mission	<p>JICA Headquarters sent JICA Consultation Mission to discuss the last one year's activity to CLMV in May 2008. JICA and ONCB agreed the following six core activities.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Improvement of drug analysis techniques and skills including external profiling 2. Establishment of maintenance system for GC and other drug analysis equipment 3. Establishment of drug profiling database 4. Promotion of the usage of field test kits 5. Development of manual/handbook of law enforcement officers 6. Improvement of knowledge and skills of drug law enforcement officers 	

3

u

(4) OVERALL GOAL, PROJECT PURPOSE AND OUTPUTS

Narrative Summary of PDM	Verifiable Indicators	Data Source	Summary of Achievement until January 2009	Assessment (Good-Moderate-Poor)
<p>Overall Goal: The drug control cooperation framework is strengthened, especially for drug investigation based on scientific evidence obtained from drug analysis in Cambodia, Lao PDR, Myanmar, Vietnam and Thailand.</p>	<p>1. The results of drug analysis are exchanged between the related organizations in the region. 2. The list of resource persons (instructors for drug control and drug analysis, maintenance engineers, database consultants) is shared among the participating countries.</p>	<p>1. Project records or participating organization's records. 2. List of resource persons.</p>	<p>It is too early to determine the impact by the Project on the Overall Goal. However, the current observation shows a progress toward the Goal as follows: 1. Drug database has been installed and its successful operation is expected. The results of IP analysis has been accumulated at NATSI. The data exchanging method can be improved by standardized new database system. Data exchange is expected to be more frequent. 2. The list of Thai expert is ready. NATSI assigned focal points by topic for CLMV to contact through. CLMV have not prepared nor exchanged each resource person list.</p>	<p>-----</p>
<p>Project Purpose: ONCB develops stronger capacity on drug analysis and IP to offer further technical support to regional counterparts in the area of law enforcement and drug analysis/IP.</p>	<p>1. NATSI of ONCB is upgraded to the full fledged institute in the region on drug analysis and IP. 2. ONCB counterparts can serve as trainers/ lecturers for drug control and drug analysis training courses.</p>	<p>1. ONCB's activity report (Budget, equipment, human resources) 2. Report of training courses and teaching materials the C/P developed.</p>	<p>1. NATSI's capability has been upgraded and it is recognized as a full fledged institute in the region. 2. ONCB counterpart acquired their skill to teach and train regional counterpart in CLMV.</p>	<p>Moderate</p>
<p>Outputs 1. NATSI laboratory's capabilities to analyze drugs and related materials are upgraded.</p>	<p>1. Drug analyst of NATSI, ONCB, acquires the skills in IP and signature analysis.</p>	<p>1. Record of IP analysis (Table 5) 2. Drug analysis (Table 4) 3. Training materials (Table 6) 4. Interview</p>	<p>- The skill of signature analysis of ATS reached to the instructor level. - The skill of IP of ATS has been upgraded. Data accumulation is necessary. - The quality assurance of IP is increasingly important. It is required to maintain and improve the preciseness of IP by more appropriate data management and accumulation. In addition, NATSI continues to develop its laboratory human resources with higher effectiveness in terms of future sustainability of the institute.</p>	<p>Moderate</p>

3

19

u

Narrative Summary of PDM	Verifiable Indicators	Data Source	Summary of Achievement until January 2009	Assessment (Good-Moderate-Poor)
<p>2. The linkage between drug analysis and drug law enforcement work is strengthened.</p>	<p>1. Operational guideline/manuals/handbook for anti-narcotics law enforcement officers is developed/ distributed.</p>	<p>1. Teaching materials for in-country training. (Table 6)</p>	<p>-ONCB information system already linked the data from drug analysis and to the information necessary for law enforcement Law enforcement bureau can browse the data for reference. (1) Digital photos of seized drug are sent to NATSI. NATSI can return the police station with the profiled result. (2) All police stations have test kits. (3) ONCB drug analysts have training for local drug law enforcement officers to utilize the results of drug analysis. (J/E Report April 2007) -ONCB developed law enforcement training materials by itself. -Database system has been updated and utilized.</p>	<p>Good</p>
<p>3. Capabilities of ONCB instructors are strengthened in conducting training in the field of law enforcement and drug analysis/ impurity profiling.</p>	<p>1. ONCB counterparts are able to give guidance/ advice in the field of law enforcement and drug analysis if requested by regional counterparts. 2. The list of ONCB instructors for drug control and drug analyst is compiled. 3. Teaching materials (textbooks, presentation files) for drug control and drug analysis are stored at ONCB.</p>	<p>1. Training reports and evaluation from training participants. 2. List of instructors. (Table 7) 3. Teaching materials for regional workshops. (Table 6)</p>	<p>1. ONCB performed its leadership by introducing advanced skills and actual cases for CLMV in-country training. In addition, ONCB occasionally provided advice to CLMV on a bilateral basis. With more experience and higher knowledge than those of CLMV counterparts, ONCB instructors have significantly contributed to the upgrading knowledge of CLMV. Lao P.D.R. has language similarity with Thailand and it also advantages Thailand in offering support. In addition to the routine activity of information exchange in the region, it is also expected that Thailand would provide more comprehensive assistance such as technical training and equipment supply on request. 2. List of instructors on drug analysis has been made. NATSI currently has eleven scientists. Among them; three capable of IP, five capable of signature analysis, nine capable to teach, and three currently conduct training. 3. Teaching materials have been developed. Many materials for ONCB human resource development are accumulated in the Library or in the Training Institute.</p>	<p>Good</p>

Note:

ATS: Amphetamine-type Stimulus, CLMV: Cambodia, Lao People's Democratic Republic, Myanmar, and Vietnam, C/P: Counterpart, GC: Gas Chromatograph, GC-MS: Gas Chromatograph-Mass Spectrometer, ICE: Crystal-type Methamphetamine, IP: Impurity Profiling, JCC: Joint Coordinating Committee, J/E: Japanese Expert, JICA: Japan International Cooperation Agency, M/M: Minutes of Meeting or Man-Month, NATSI: Narcotics Analysis and Technical Service Institute (ONCB), ONCB: Office of Narcotics Control Board, PDM: Project Design Matrix

Handwritten mark

3

20

Table 1 Assignment of Japanese Expert

From 派遣開始	To 派遣終了	2006												2007												2008												2009													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
長崎県警 薬物分析課 木村昌彦 氏 Mr. Kimura Masahiko	2006/6/15	2008/6/14	24.33	14																																															
薬務調整 調整官 飛藤 正志 氏 Mr. Hidaka Masashi	2006/11/1	2008/3/31	17.20	31																																															
薬物分析 薬物分析 高市 基一 氏 Mr. Taketichi Kenichi	2006/12/1	2008/3/31	16.20	31																																															
短期派遣 調整官 大津留 修 氏 Mr. Otsuru Osamu	2006/10/8	2005/10/15	0.23	15 15																																															
薬物分析 薬物分析 桑山 健次 氏 Mr. Kinuyama Kenji	2007/7/15	2007/7/18	0.10	8 5																																															
薬務調整 調整官 勝保 祐二 氏 Mr. Katsumasa Yuji	2006/10/8	2006/11/5	0.53	22																																															
薬務調整 調整官 高川 大助 氏 Mr. Kurokawa Daitsuke	2008/4/22	2009/3/31	11.43	8																																															
薬物分析 薬物分析 小坂 孝一 氏 Mr. Kosaka Koichi	2008/9/8	2009/3/31	5.80	8																																															
薬物分析 薬物分析 北川 保治 氏 Mr. Tajibawa Keiji	2008/10/13	2009/3/31	5.63	11 11																																															
薬物分析 薬物分析 LUD 亮志 氏 Mr. Yamaguchi Koji	2008/11/10	2008/12/23	1.43	10 23																																															
	2008/1/26	2009/3/28	2.03	26																																															
			85.31																																																

21 Thai RD
24 Cambodia MM 14 Lao MM
9 VN MM

Table 2 Counterpart Training in Japan

Trainee	Position	Field	Duration	Visiting Agencies in Japan
Mr. Wanchai Disates	Assistant Director, LED, ONCB	Drug Law Enforcement	Sep. 24-Oct. 10, 2007	NPA, Japan Coast Guard, National Research Institute of Police Science, National Police Academy, and Kyoto Pref. Police Dept.
Mr. Sarawut Pakdee	Senior Officer, LED, ONCB			

3

10

Handwritten mark

Table 3 Counterpart Personnel in ONCB

As of January 2009

Name	Position
1 Administration	
Mr. Chartchai Suthiklom	Senior Narcotics Control Advisor
Ms. Rachanikorn Sarasiri	Director of Foreign Affairs Bureau
Mr. Kraivudh Maneeratana (Tok)	Section Chief, Narcotic Law Enforcement Bureau
2 Narcotic Law Enforcement Bureau (LEB)	
Mr. Sukhum Opasniputh	Director of LEB
Mr. Wanchai Disates	Deputy Director of LEB
Mr. Chotipun Jullapech	Supervisor for Law Enforcement Officers
3 Narcotic Analysis and Technical Service Institute (NATSI)	
Mr. Vichet Puthaviriyakorn	Director of NATSI
Ms. Kanyanan Kongpatnitiroj (Pom)	Chief of Drug Surveillance & Technical Sub-division
Ms. Wiphada Panok (Weaw)	Chief of Drug Situation Monitoring & Data Processing Sub-division
Mr. Amornchai Trikunakornwong (Sone)	Scientist, NATSI
Ms. Supawadee Boonyapitaks (Koi)	Scientist, NATSI
Ms. Juthamard Phorachata (Mard) (Up to Nov. 2008)	Scientist, NATSI

Source: ONCB.

Table 4 Drug Analysts in NATSI

As of January 2009

	Name	Position	C/P Member	Acquired Skill				Physical Analysis	Remarks
				Drug Analysis	IP of ATS	IP of ICE	Instructor		
1	Ms. Kanyanan Kongpatnitiroj	Senior Scientist	X	X	X	X	X	Contact Person of IP	
2	Ms. Wiphada Panok	Senior Scientist	X	X		X	X	Contact Person of DB	
3	Mr. Amornchai Trikunakornwong	Scientist	X			X		Newly employed.	
4	Ms. Pornjit Sudjai	Scientist				X	X	Newly employed.	
5	Mr. Weerayut Hongdanklang	Scientist				X	X	Newly employed.	
6	Ms. Supawadee Boonyapitaks	Scientist	X	X	X	X		Newly employed.	
7	Ms. Ratee Srimak	Scientist		X	X	X		Newly employed.	
8	Ms. Jaidee Doungchan	Scientist		X		X	X	Newly employed.	
9	Ms. Supaporn Khongram	Scientist				X		Newly employed.	
10	Ms. Renu Khamhom	Scientist		X		X		Newly employed.	
11	Ms. Janchira Chalee	Scientist		X		X		Newly employed.	

Source: NATSI.

Table 5 Cases of IP by NATSI

Category	2005	2006	2007	2008
ATS	695	862	1,007	1,015
Ice				
Total	243			

Source: NATSI.

Note: TFY (Thai Fiscal Year) starts in October and ends in September.

TFY 2008 is from October 2007 to September 2008.

Table 6 Training Materials

Material Title	Author	Published Date	No. of Copy/Form	Training Activity	Remarks
Practical GC-MS Analysis of Controlled Drugs in Forensic Toxicology	Dr. Takachi Kenichi	Nov-07	Photo copy	CLMVT Lab.	1-2
Narcotics Drugs in the Region and Trend of New Drugs	Mr. Anomchit Trikanakornwong	Jun-07	PowerPoint	Participants of in-country training	2-2, 3-2
The Basic Principle of Drug Analysis	Ms. Kanyanan Kongpanitiroj	Jun-07	PowerPoint	Participants of in-country training	1-2, 3-2
Drug Impurity Profiling Intelligence Analysis	Mr. Chotipun Jullapech	Aug-08	PowerPoint	Participants of in-country training	1-2, 2-2, 3-2
Illegal Narcotics Investigation	Mr. Chotipun Jullapech	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	2-2, 3-2
Gathering of Drug Information and Intelligence Analysis	Mr. Chotipun Jullapech	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	2-2, 3-2
Intelligence Analysis	Mr. Chotipun Jullapech	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	2-2, 3-2
Utilization of IP and Intelligence Analysis	Mr. Chotipun Jullapech	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	1-2, 2-2, 3-2
Introduction of Drug Investigation in Japan	Mr. Kurokawa Daisuke	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	3-2
Impurity Drug Profiling and Signature Analysis	Ms. Kanyanan Kongpanitiroj	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	1-2, 3-2
Drug Testing and Drug Identification	Ms. Kanyanan Kongpanitiroj	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	1-2, 3-2
Basic Knowledge and Identification	Ms. Kanyanan Kongpanitiroj	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	1-2, 3-2
Physical Examination	Ms. Wiphaich Panok	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	1-2, 3-2
Annual Situation Analysis	Mr. Vichet Puthaviriyakorn	Oct-08	PowerPoint	Participants of in-country training	1-2, 3-2
JICA Drug Profiling Database Installation Guide (For Police Version 0.2)	Praween Kuranonda (Jelly Fish Co., Ltd.)	Dec-08	Many	CLMV Database Trainees	3-2
JICA Drug Profiling Database Installation Guide (For Administrator Version 0.8)	Praween Kuranonda (Jelly Fish Co., Ltd.)	Dec-08	Many	CLMV Database Trainees	3-2
Yabs Classification Manual in Thailand	NATSI	Jan-09	Photo copy	Domestic Use	1-2
Agilent 6890 Gas Chromatograph - Maintaining Your GC	Agilent Technology			CLMV GC maintenance trainees	3-2
Instructions and Guidelines of Drug Abuses Control	CCDAC (Myanmar)		300	Drug Law Enforcement Officers in Myanmar	3-2
Training Textbook for Drug Law Enforcement Officers	CPND (Vietnam)			Drug Law Enforcement Officers in Vietnam	3-2
Conspiracy Case Proceeding Process and Social Order Management	ONCB		5,000	Law Enforcement Officers	2-2
Supreme Court Sentences on Narcotics Cases	ONCB		3,000	Law Enforcement Officers	2-2
Narcotics Laws, Regulations and Orders	ONCB		2,000	Law Enforcement Officers	2-2
Narcotics Laws of Thailand (Book and CD)	ONCB		5,000	Law Enforcement Officers	2-2
The Summary of Narcotics Laws of Thailand	ONCB		10,000		2-2

Source: ONCB, Project and others.

Table 7 Training for CLMV and its Instructor

Date	Country	Type of Meeting	Theme	ONCB Instructors										Other Instructors	Remarks		
				AM	PC	JP	KK	SB	WP	KD	KK	KM	OO			TK	
07/6/4 -8	Thailand	Leaders' WS	Law Enforcement	X	X	X	X	X								Kraivudh, Wanchai, Vichet, Raviwan,	
07/7/22 -28	Thailand	Leaders' WS	Law Enforcement	X	X											Kraivudh, Norathap, Vichet, Raviwan,	
08/3/11 -13	Thailand	Leaders' WS	Drug Analysis	X		X	X	X	X							Vichet, Sudjai	
08/3/17 -20	LaoPDR	ICT	Drug Analysis						X								Hanoi and HCMC
08/3/24 -26	Vietnam	ICT	Drug Analysis						X								
08/3/24 -26	Cambodia	ICT	Drug Analysis						X								
08/4/24	Cambodia	ICT	Law Enforcement														
08/5/29 -30	Cambodia	Guidance	Drug Analysis							X							
08/8/26 -28	Myanmar	ICT	Law Enforcement				X										
08/10/7 -9	Myanmar	ICT	Law Enforcement				X										
08/11/4 -7	LaoPDR	ICT	Law Enforcement				X										
08/11/24 -28	Cambodia	ICT	Law Enforcement				X										
08/12/15 -19	LaoPDR	ICT	Law Enforcement				X										
08/12/23 -24	Myanmar	ICT	Drug Analysis				X										
09/1/13 -16	LaoPDR	ICT	Law Enforcement	X													
09/2/3 -5	LaoPDR	ICT	Drug Analysis				X										Scheduled
09/2/17 -19	Myanmar	ICT	Law Enforcement				X										Scheduled

Source: Project.

Note:

Initials of instructors

Thai Side

AT: Mr. Amornchai Triakomwong (Sone)

CJ: Mr. Chotipun Jullapech

JP: Ms. Juthamard Phorachata (Mard)

KK: Ms. Kanyanan Kongpatitroj (Pom)

SB: Ms. Supawadee Boonyapiats (Koi)

WP: Ms. Wiphada Panok (Weaw)

Japanese Side

KD: Mr. Kurokawa Daisuke

KK: Mr. Kosaka Koichi

KM: Mr. Kimura Masahiko

OO: Mr. Otsuru Osamu

TK: Mr. Takaichi Kenichi

黒川大助

小坂孝一

木村昌彦

大津留修

高市憲一

3

24

u

ANNEX IV EVALUATION GRID FOR THE PROJECT

Criteria	Evaluation Questions		Method of Judgment	Summary of Evaluation	Evaluation
	Question	Sub-question			
Relevance -To examine the justifiability or necessity for project implementation	Is the effect that the Project is aiming for in line with the national policy of Thailand and the CLMV countries?		Check consistency with existing situation and government policy.	Because anti-narcotics problem in CLMVT requires a regional cooperation framework as follows, the Project is in accordance with each country's policy. -The drug problem had been a regional problem among Thailand, Myanmar and Lao PDR. In 1990s, it involved Vietnam and Cambodia. -The types of illegal drugs changed from cannabis, opium and heroin to synthetic drugs such as ATS and cocaine. -Royal Thai Government focused drug problem as government's priority in the Ninth Economic and Social Development Plan (2002-06). The Government continuously prioritized the drug control as the national agenda and enacted the <i>Act on Procedure of Narcotics Case</i> in 2007.	High
	Is the selection of target group relevant?	Is the Project relevant with individual needs with prospective instructors of drug control (law enforcement and drug analysis)?	-Ditto-	The targeting is appropriate because ONCB has developed its highly capable staff through the Phase I. Providing the opportunities for them to perform as capable instructors in the region leads to their further motivation in their core business.	High
	Is the Project consistent with the Japan's foreign assistance policy?	Is the Project relevant with needs with NATSI, ONCB? Does the Project focus on the priority issue of Official Development Assistance?	-Ditto-	It is expected that higher performance of instructors will contribute to the furtherance of the presence of NATSI, ONCB in the region.	High
	Was the formulation process of Project framework relevant to the issue?	Is the Project relevant with JICA's Program Implementation Plan? Does Japan have technical advantage in this field?	ODA Policy Papers	The Japan's ODA Charter (August 2003) and the ODA-Mid Term Policy (February 2005) addresses the drug problems to be prioritized as a global issue. In Japan's Economic Cooperation Program for Thailand (May 2006), Ministry of Foreign Affairs supports Thailand's effort as a donor country. And it also emphasizes the drug problem as a threat for human security and social stabilization. Thus, the Project is relevant to it.	High
			JICA's Program Implementation Plan	JICA's Program Implementation Plan to Thailand (Oct, 2006) is consistent with Ministry of Foreign Affairs' programs. The Project is relevant to the Plan.	High
			Project documents	Japan has sufficient experience in drug analysis and law enforcement by using scientific method. The experts have capability to transfer their technology to Thai and other CLMV organizations.	High
		Was the Project approach of regional cooperation relevant to the issue?	-Ditto-	Due to delay of procedure, consensus building among participating countries was made after the signing of the Record of Discussion between Thailand and Japan.	Moderate

2

25

K

Criteria	Evaluation Questions		Method of Judgment	Summary of Evaluation	Evaluation
	Question	Answers			
Effectiveness -To examine the project effects	See Achievements of Project Purpose and Outputs in Annex III (4).		Identification of external factors.	JICA implements a bilateral drug control project in Cambodia. A smooth linkage and synergy have been observed.	High
	Were there any external factors that contributed to the achievement of the Project Purpose? Were there any external factors that inhibited the achievement of the Project Purpose?	Situation of GC and other equipment. Others.			
Efficiency -To examine the level of input against output	Were the Inputs appropriate against the achieved Output?	Were the number, timing, and expertise of J/E appropriate?	Comparison between plan and achievement.	-Total input of Japanese experts is appropriate. -However, J/E and C/P had heavy workload during the last eight months of the project period. -Major analytical equipments such as GC had been introduced to NATSI in Phase I. It promoted smooth start at Phase II. -Thai Counterpart had sufficient capability and their assignment was appropriate. -One of the experienced counterparts from NATSI moved to another position in November 2008. -The Output 1 will be achieved despite small input of equipment from the Japanese side.	Moderate
	Were the Outputs efficiently achieved?	Were the types, quantity, and timing of the provided equipment appropriate?			
	Were the Inputs appropriate against the achieved Output?	Were the numbers, assignment and skill of Thai C/P appropriate?			
	Were the Outputs efficiently achieved?	Was Output 1 efficiently achieved? Was Output 2 efficiently achieved? Was Output 3 efficiently achieved?			
Factors to inhibit or contribute the efficiency.	What are the factors that inhibit or contributed to the efficiency of project implementation process?		-Ditto-	-ONCB occasionally supported Cambodia and Myanmar on bilateral basis. -GC in Myanmar was out of service for a long time. Some reagents, accessories and maintenance were not easily available in CLMV. -Procurement of accessories and reagents took time because of import procedure. It required careful scheduling of activity in far advance.	Moderate

Note: CLMV: Cambodia, Lao PDR, Myanmar and Vietnam, C/P: Thai Counterpart, GC: Gas Chromatograph, J/E: Japanese Expert, JICA: Japan International Cooperation Agency, NATSI: Narcotics Analysis and Scientific Research Institute, ONCB: Office of Narcotics Control Board.

3

26

Annex V

Achievements to Date and Plan of Activities of Cambodia, Lao P.D.R., Myanmar and Vietnam until completion of the Project (March 2009)

Outputs to be achieved in CLMV countries	Achievements to date	Plans until completion of the project
<p><1> <u>Improvement of drug analysis techniques and skills including on external profiling</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Refining C/Ps' techniques for impurity profiling of ATS - Establishing external profiling database (part of drug profiling database) 	<p>[All CLMV]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Through the first phase, at least two drug analysts in each country acquired the skills in IP of ATS. - Two drug analysts from each country participated in the drug analysis regional workshop held in Bangkok in July 2007. - CLV countries have decided to adopt ONCB's codes / categorization for drug profiling database. <p>[Cambodia]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Training for drug analysis including IP has been conducted in March 24-26, 2008 and May 29-30, 2008. - 1 scientist in NACD acquired techniques of IP of ATS and put them into practice. - 1 administrator and 2 operators have been assigned for the database in the laboratory. <p>[Lao P.D.R.]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Training for drug analysis including IP has been conducted in March 11-13, 2008 and December 15-19, 2008. - 1 scientist in FDQCC usually conducts color test, TLC, and qualitative analysis by using GC. - 19 samples are analyzed by IP, but not 	<ul style="list-style-type: none"> - Supporting improvement of drug analysis techniques and skills in CLM countries as much as possible would be desirable. - Installation and operational training* of the database will be implemented on January 29-30. <p>* Training for law enforcement officers (see <3> below) will be held in conjunction with this training.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Training for drug analysis will be conducted on February 3-4.

3

	<p>completed yet.</p> <ul style="list-style-type: none"> - FDQCC has few reference standards. - Consultants (based in Thailand) and JICA expert visited Vientiane for installation and operational training* of the database on January 21-22, 2009. - 1 administrator/ operator has been assigned for the database in the laboratory. <p>* Training for law enforcement officers (see <3> below) was held in conjunction with this training.</p> <p>[Myanmar]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Training for precursor analysis has been conducted in December 23-24, 2008. - CEO usually conducts color test and TLC. 1 scientist in Mandalay conducts Qualitative analysis by using GC-MS. - CEO has few reference standards. - 1 administrator and 6 operators (including administrator) in Yangon and 1 administrator and 3 operators (including administrator) in Mandalay has been assigned to participate in operational training for the database in the laboratory. <p>[Vietnam]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Training for drug analysis including IP has been conducted in March 17-20, 2008. - There are 6 scientists who can conduct IP of ATS in IFS. (4 in Hanoi, 2 in Ho Chi Minh). - Consultants (based in Thailand) and JICA expert visited Hanoi for installation and operational training* of the database on January 6-7, 2009. 	<ul style="list-style-type: none"> - Technical follow-up for the progress of database operation would be necessary at least one in February or March. <ul style="list-style-type: none"> - Training for drug analysis will be conducted in March. - Installation and operational training* of the database will be implemented in February. <p>* Training for law enforcement officers (see <3> below) will be held in conjunction with this training.</p>
--	---	--

3

u

	<ul style="list-style-type: none"> - 1 administrator / operator for Hanoi and Ho Chi Minh has been decided for the database in the laboratory. * Training for law enforcement officers (see <3> below) will be held in conjunction with this training. 	
<p><2> <u>Establishment of maintenance system for GC and other drug analysis equipment</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Keeping maintenance record on GC/other analysis equipment and inventory for spare parts and other consumables - Conducting preventive maintenance methods of GC - Organizing information on GC maintenance and on the purchase of spare parts / consumables 	<p><u>[All CLMV]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - JICA Vietnam office got a contract with Trammat Co. for GC maintenance and training for preventive maintenance in August 2008. <p><u>[Cambodia]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Trammat Co. conducted training for preventive maintenance methods of GC on October 13-15, 2008. - NACD has kept contacting to Trammat Co. through Medicom Co. in Cambodia for procuring spare parts and consumables. - NACD have procured gas cylinder in place of troubled gas generator. - NACD laboratory has been requesting \$30,000 to the financial bureau for maintenance of GC. <p><u>[Lao P.D.R.]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Trammat Co. conducted training for preventive maintenance methods of GC on October 1-3, 2008. - FDQCC called Trammat Co. for fixing GC in November 2008. - FDQCC has kept contacting to Trammat Co. (or partly to local company) for procuring spare parts, chemicals and consumables. - FDQCC has insufficient budget for maintenance of GC. 	<ul style="list-style-type: none"> - Effort for acquiring budget for sustainable maintenance of GC should be encouraged. - Effort for acquiring budget for sustainable maintenance of GC should be encouraged.

3

29

//

	<p><u>[Myanmar]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Tramet Co. conducted training for preventive maintenance methods of GC on November 13-15, 2008. - Bang Trading Co. in Thailand repaired the gas generator. - CEO has kept contacting to Tramet Co. for procuring spare parts and consumables. - CEO has been requesting \$1,000 to the police force for maintenance of GC. - Myanmar has a restriction of importing gas, chemicals, etc. <p><u>[Vietnam]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Tramet Co. conducted training for preventive maintenance methods of GC in Hanoi and Ho Chi Minh on September 16-18, 2008. - Tramet Co. conducted the same training for other 3-4 scientists by IFS's own budget. - IFS procures necessary spare parts, chemicals, and consumables by its own budget. 	<ul style="list-style-type: none"> - Effort for acquiring budget for sustainable maintenance of GC should be encouraged.
<p><u><3></u></p> <p><u>Establishment of drug profiling database</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Linking drug analysis results to drug control activities 	<p><u>[All CLMV]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Brief concept of the database was explained to CLV countries by using tentative version from January to May 2008. <p><u>[Cambodia]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 1 administrator and 1 operator have been assigned for the database in DIC. 	<ul style="list-style-type: none"> - Installation and operational training* of the database will be implemented on Jan. 29-30. <p>*JICA expert and the</p>

//

3

30

	<p>[Lao P.D.R.]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Consultants (based in Thailand) and JICA expert visited Laos for installation and operational training* of the database on January 21-22, 2009. - 3 administrators / operators have been assigned for the database in DCD. <p>[Myanmar]</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2 administrators / operators have been assigned for the database in Drug Control Center of CCDAC. <p>[Vietnam]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Database was installed in CNPD and SODC on January 6-7. - 1 administrator / operator have been assigned for the database in CNPD. - Each server and client PC has not connected each other yet. 	<p>consultants will monitor the status of database operation.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Technical follow-up for the progress of database operation would be necessary at least one in February or March. - Installation and operational training* of the database will be implemented on February 13-14. <p>*JICA expert and the consultants will monitor the status of database operation.</p> <ul style="list-style-type: none"> - It is expected that Vietnamese government consider connecting each server and client PC as soon as possible.
<p><4> Promotion of the usage of field test kits</p> <ul style="list-style-type: none"> - Establishing and teaching standard protocol for the use of field test kits 	<p>[All CLMV]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Explanation on the use of drug test kits has been provided in Drug Law Enforcement seminar in CLM countries (see <6> below). <p>[Cambodia]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Drug test kits have been provided on November 28,2008. (Marquis Test: 	<ul style="list-style-type: none"> - DCD will develop the guideline for using

3/

3/

u

	<p>3000, Simon Test: 2000, Cobalt Thiocyanate Test: 1200)</p> <p>*Another JICA bilateral project implemented trainings on the use of field test kits.</p> <p>[Lao P.D.R.]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Drug test kits have been and will be provided to all provinces on the occasion of Law Enforcement training courses (see <6> below). (Marquis Test: 2000, Simon Test: 1800, Cobalt Thiocyanate Test: 800) <p>[Myanmar]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Drug test kits have been provided to 26 regional taskforces on the occasion of the Law Enforcement training course in August,2008 and others. (Marquis Test: 3950, Simon Test: 1550, Cobalt Thiocyanate Test: 2950) - ONCB also provided drug test kits for Myanmar by its own budget. - Manuals for usage of the test kits has been translated by the support of ONCB staff of Thai Embassy in Myanmar and provided to 26 regional taskforces. <p>[Vietnam]</p> <ul style="list-style-type: none"> - 200 sets (60 testers / set) of test kits were made by IFS through budget support from JICA and provided to CNPD on July 17, 2008. - 72 sets were consumed in the training courses and 38 sets were distributed to local polices. 	<p>test kits and monitor its usage twice a year.</p>
<p><5> Development of manual/handbook for law</p>	<p>[Cambodia]</p> <ul style="list-style-type: none"> - NACD made the draft of "Field guide for technical operation for chemical and drug control" and asked authorization of the 	<ul style="list-style-type: none"> - JICA will support to print 2000 copies if getting the approval

①

32

u

<p><u>enforcement officers</u></p>	<p>Secretary General.</p> <p><u>[Lao P.D.R.]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - DCD made the draft of Drug Law Enforcement Manual and asked authorization of the Minister. <p><u>[Myanmar]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - CCDAC made the 300 copies of Drug Law Enforcement Manual and distributed to 26 regional taskforces. <p><u>[Vietnam]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - CNPD made a textbook for drug investigation training budgetary supported by JICA. SODC also made drug investigation manual, etc. by its own budget. - IFS made a brochure on drug analysis supported by JICA. 	<p>by February.</p> <ul style="list-style-type: none"> - JICA will support to print 150 copies if getting the approval by February. - CCDAC has a plan to insert new case information and print additional copies.
<p><u><6></u></p> <p><u>Improvement of knowledge and skills of drug law enforcement officers</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Conducting in-country training courses 	<p><u>[Cambodia]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Drug Law Enforcement training courses were conducted as follows: <ol style="list-style-type: none"> 1. November 24-28, 2008 at Phnom Penh 79 participants from police, custom, NACD etc. - NACD has officials who can deliver lectures on drug law enforcement. - NACD has insufficient budget for conducting training. <p>*Another JICA bilateral project also supported in-country training courses on drug law enforcement. (e.g. April 24, 2008 at Siem Reap)</p> <p><u>[Lao P.D.R.]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - Drug Law Enforcement training courses 	<p>- Drug Law</p>

3

33

u

	<p>were conducted as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. November 4-7, 2008 at Vientiane 30 participants of police officers from Central region 2. January 13-16, 2009 at Pakse 32 participants of police officers from South region <ul style="list-style-type: none"> - LCDC and DCD have officials who can deliver lectures on drug control and drug law enforcement in Laos. - LCDC has insufficient budget for conducting training. <p>[Myanmar]</p> <ul style="list-style-type: none"> - Drug Law Enforcement training courses were conducted as follows: <ol style="list-style-type: none"> 1. August 26-28, 2008 at Naypitaw 30 participants from regional taskforces of CCDAC 2. October 7-9, 2008 at Naypitaw 30 participants from regional taskforces of CCDAC - CID has its own program for drug investigation and intelligence for young police officers once/twice a year. - CID and CCDAC have officials who can deliver lectures on drug control and drug law enforcement in the program. <p>[Vietnam]</p> <ul style="list-style-type: none"> - JICA supported the budget for conducting Drug Law Enforcement training for 80 police officers in 2008. - CNPD has its own training courses on drug law enforcement for local police officers or district managers a few times a year. - Some ex-participants of regional seminar in Thailand deliver lectures in the courses. 	<p>Enforcement trainings will be conducted for police officers from North region on February 3-5, 2009 at Luangprabang.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Drug Law Enforcement trainings will be conducted for police officers from regional taskforces of CCDAC on February 17-19, 2009 at Naypitaw.
--	---	--

3

⇒

u

Notes:

NACD: National Authorities for Combating Drugs (Cambodia)

DIC: Drug Information Center (Cambodia)

LCDC: Lao National Commission for Drug Control and Supervision (Lao P.D.R.)

DCD: Drug Control Department, Ministry of Public Security (Lao P.D.R.)

FDQCC: Food and Drug Quality Control Center, Ministry of Health (Lao P.D.R.)

CCDAC: Central Committee for Drug Abuse Control, Myanmar Police Force (Myanmar)

CEO: Chemical Examiner's Office, Myanmar Police Force (Myanmar)

SODC: Standing Office on Drug Control (Vietnam)

CNPD: Counter Narcotics Police Department (Vietnam)

IFS: Institute of Forensic Science (Vietnam)

ONCB: Office of Narcotics Control Board (Thailand)

JICA: Japan International Cooperation Agency (JICA)

③

35

d

ANEX VI. List of Interviewees

THAILAND

Office of Narcotics Control Board (ONCB)

1. Mr. Chatchai Suthiklom, Senior Narcotics Control Advisor
2. Mr. Vichet Puthaviriyakorn, Director, NATSI
3. Ms. Kanyanan Kongpatnitiroj, Senior Scientist, NATSI
4. Mr. Kraivudh Maneeratana, Law Enforcement Officer
5. Mr. Thanapol Thanikkul, Foreign Relations Officer
6. Ms. Mayurashatr Pandhuatr, Senior Foreign Relations Officer
7. Ms. Khanitha Limvanich, Information and Technology Center
8. Mr. Chotipun Jullapech, Law Enforcement Officer
9. Mr. Wutthipong Panich-suay, Senior Law Officer

10. Mr. Yuji Katsumata, JICA Expert (Coordinator)
11. Mr. Daisuke Kurokawa, JICA Expert (Law Enforcement)
12. Mr. Koichi Kosaka, JICA Expert (Drug Analysis)

Thailand International Development Cooperation Agency (TICA)

1. Mr. Pichet Khemthong, Program Officer

CAMBODIA

National Authority of Combating Drugs (NACD)

1. Lt. Gen. Moek Dara, Secretary General, Director of Anti-Drug Dept.
2. Mr. Sar Chhamrith, Advisor,
3. Mr. Suon Khoelin, Deputy of Department
4. Mr. Chun Thaweat, Deputy Director of International Cooperation Department
5. Dr. Meas Vyrith, Director of Narcotics Laboratory
6. Col. Duong Sunnara, Deputy Director of Law Enforcement Department
7. Mr. Cheat Sovichea, Deputy Head of Drugs Information Center
8. Ms. Sithybnrith, Laboratory Analyst

9. Mr. Takeuchi Hiroyuki, JICA Expert (Drug Control Project)

LAO P.D.R.

Lao National Commission for Drug Control and Supervision (LCDC)

1. Mr. Ounseng Vixay, Head of Permanent Secretariat
2. Mr. Houmphanh Souksavarn, Acting Director of Law Enforcement Division

3

26

Handwritten mark

Food and Drug Quality Control Center (FDQCC),.....

1. Dr. Latsamay Vongsack, Director
2. Mr. Kongchai Khamphoumy Deputy Head of Narcotic Division

Drug Control Department (DCD), Ministry of Public Safety

1. Mr. Khamphonh Sihaphanya, Director
2. Mr. Seng Houng, Deputy Officer
3. Mr. Ouf Sayauth, Technical Officer

MYANMAR

CCDAC

1. Pol. Col. Hkam Awng, Joint Secretary
2. Pol. Col. Phone Kyaw Shwe, Director, Law Enforcement Department
3. Pol. Lt. Col. Than Soe, Deputy Director, International Relations Department

CEO (Chief Examiner's Office)

1. Ms. Thida Oo, Deputy Director, Head of CEOs in Yangon and Mandalay
2. Mr. Saw Henry, Assistant Director of Narcotics and Psycho tropics Section in Yangon
3. Mr. Nyan Min Tun, Assistant Director of Narcotics and Psycho tropics Section in Mandalay
4. Ms. Nyo Nyo Win, Assistant Director of Forensic stain and General analytical Section in Yangon
5. Ms. Aye Aye Maw, Assistant Director of Toxicology Section

VIETNAM

Standing Office of Drug Control of Vietnam (SODC)

1. Mr. Hoang Anh Tuyen, Deputy Director
2. Pol. Col. Ta Duc Ninh, Deputy Director of International Cooperation
3. Ms. Nguyen Nhu Ha, Assistant

Institute of Forensic Science (IFS)

1. Maj. Gen. Dr. Ngo Tien Quy, Director
2. Dr. Du Ding Dong, Director of Drug Analysis Center

Counter Narcotics Police Department (CNPD)

1. Mr. Nguyen Ngoc Giao, Deputy Chief of Staff Division
2. Ms. Nguyen Thi Phuong Thao, Assistant

3

37

h